

神戸観光局マーケティング情報 マンスリーレポート (2023年8月号)

2023年8月29日



KOBE TOURISM BUREAU
神戸観光局

1. 今月のトピックス

- ・ JNTO 「訪日マーケティング戦略」ピックアップ ～中国～ P.3～5
- ・ 訪日／中国人 観光事業者へのインタビュー P.6～7
- ・ じゃらん宿泊旅行調査2023／じゃらん国内宿泊旅行ニーズ調査 P.8～9
- ・ 神戸観光局独自調査「神戸港観光資源調査」 P.10～12
- ・ 神戸観光局SNS情報 P.13
- ・ 今月号の注目数字（国内観光）OTAモニタリング P.14～16

2. 定点観測 ～観光庁など統計データより～

- ・ 延べ宿泊者数の推移（全国、兵庫県）[推計値] P.18～19
- ・ ホテル平均稼働率 P.20

3. インバウンドに関する情報

- ・ 2023年月別訪日外客数 及び 各国・地域別の状況 P.22～23
- ・ 主要ターゲット国の旅行行動傾向分析 ～タイ～ P.24

4. 交通機関に関する情報

- ・ 関西国際空港・神戸空港の利用状況 P.26
- ・ 関空国際線就航状況・入国状況 P.27
- ・ クルーズ船寄港状況 P.28
- NEW！・ クルーズ船 9月の入港予定情報 P.29

5. 神戸市内観光に関する情報 ～神戸観光局オリジナルデータ～

- ・ 市内観光案内所 観光客案内件数、対応概況、国籍別対応状況 P.31～33
- ・ 主要市内観光施設来場者数 P.34
- ・ 所管施設入館者数（金の湯・銀の湯・萌黄の館） P.35
- ・ 神戸市内大型施設の主な催事情報（9～10月） P.36

- 参考資料集 P.37～

※観光統計情報については、統計の種類によって集計結果が配信されるタイミングに差が生じます。
本レポートではできる限りタイムリーな配信に努めてまいります、内容によって取扱い月が異なります。



今月のトピックス

(1) 全体方針

- ・全市場の中で最大の訪日旅行者数（2019年）を擁する市場である。訪日旅行意欲を引き出すため、競合国・地域との差別化はもとより、**中国の国内旅行との差別化**に留意する。
- ・**最大ボリューム層である20～40代をターゲット**とし、中でも**リピーターと高所得者層の早期訪日、地方誘客を促すプロモーションを実施**する。
- ・**リピーターについては**、自然、伝統文化、食を中心としたコンテンツを訴求することにより、**地方誘客を促進**する。
- ・**高所得者層については**、主にBtoBの取組を通してモデル観光地をはじめとする付加価値の高い日本の魅力について周知することにより、**旅行消費額単価を向上**させる。
- ・その他、内陸都市部居住者又は20代前半（Z世代）を中心とする**訪日旅行未経験者**については、オーバーツーリズムに配慮しつつ、映画やアニメなどのコンテンツを含めた情報発信によって**地方誘客**を図る。
- ・北京冬季五輪を契機にスノーを目的とする海外旅行需要が拡大していることから、**スノーアクティビティと周辺観光（食、温泉など）を織り交ぜた情報を発信**し、地方誘客、地方での宿泊数増を図る。

* モデル観光地：2022年度に「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくりモデル観光地」として観光庁が選定した11地域

(2) ターゲット

A	訪日経験者 20～40代 夫婦・パートナー	C	20～40代 世帯可処分所得上位20% (215万円/月以上)
B	訪日経験者 20～40代 家族（子連れ）	D	訪日未経験者 20～40代 夫婦・パートナー

(3) サブターゲット

a	20代前半（Z世代）
b	アウトドア・アクティビティ 関心層
c	教育旅行関心層

ターゲット別の戦略・戦術

	ターゲット	主な訴求パッション 観光コンテンツ・アクティビティ	その他、ターゲット攻略の ための留意事項	BtoBの取組	BtoC/BtoBtoC の取組
A	訪日経験者 20～40代 夫婦・パートナー	豊かな自然 <ul style="list-style-type: none"> 風景 スキー・スノボ ラフティング 食・お酒 <ul style="list-style-type: none"> ローカルフード マーケット・日用品 伝統文化・芸能 <ul style="list-style-type: none"> 温泉・湯治 伝統行事・祭体験 	<ul style="list-style-type: none"> 「豊かな自然」に対する訪日旅行後の満足度が高いため、消費単価の向上及び地方分散の促進に資するアウトドアを重点的に訴求。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑦旅行会社招請 ⑧セミナー・ネットワーキングイベント（メディア・旅行関係者） ⑨その他（ニュースレター） 	<ul style="list-style-type: none"> ①インターネット（WEB・SNS） ②セミナー・ネットワーキングイベント ③インフルエンサー招請 ④広告 ⑤メディア招請 ⑥共同広告
B	訪日経験者 20～40代 家族（子連れ）	豊かな自然 <ul style="list-style-type: none"> スキー・スノボ グランピング 風景 食・お酒 <ul style="list-style-type: none"> ローカルフード 大都市 <ul style="list-style-type: none"> 風景 遺跡・街並 夜景 街並・有名な建築 <ul style="list-style-type: none"> 風景 遺跡・街並 	<ul style="list-style-type: none"> 学校休暇の時期に合わせた訪日旅行プロモーションの実施が効果的。 「豊かな自然」に対する訪日旅行後の満足度が高いため、親子で自然を楽しむコンテンツを訴求。 言語に対する不安を持つ割合が比較的高いため、受入環境の整備促進が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑦旅行会社招請 ⑧セミナー・ネットワーキングイベント（メディア・旅行関係者） ⑨その他（ニュースレター） 	<ul style="list-style-type: none"> ①インターネット（WEB・SNS） ②インフルエンサー招請 ③メディア招請 ④広告 ⑤共同広告 ⑥旅行博・イベント



Japan. Endless Discovery.

※「BtoBの取組」及び「BtoC/BtoBtoCの取組」は、優先順位の高い取組から順に①→②→…と記載

各ターゲットにおいて、情報発信・
取組の優先順位を記載

ターゲット別の戦略・戦術

	ターゲット	主な訴求パッション 観光コンテンツ・アクティビティ	その他、ターゲット攻略の ための留意事項	BtoBの取組	BtoC/BtoBtoC の取組
C	20～40代 世帯可処分所得上 位20% (215万円/月以 上)	伝統文化・芸能 <ul style="list-style-type: none"> 伝統行事・祭体験 お茶・お花など室内体験 美術館・現代アート 食・お酒 <ul style="list-style-type: none"> ミシュラン店 ローカルフード リゾート <ul style="list-style-type: none"> エコツアー スキー・スノボ ビーチリゾート 大都市 <ul style="list-style-type: none"> 現代建築 	<ul style="list-style-type: none"> ファミリー層は海外旅行に 当たり、日本以外の国を 選ぶ割合が比較的高いこ とから、<u>ファミリー層を対象 とするプロモーションを強化</u>。 興味関心を持ってもらうに は、コンテンツの背景にある ストーリー性のある情報提 供が重要。 インターネットの他、テレビ や雑誌なども活用して広く 情報を発信。 	①旅行博・商談会 ②セミナー・ネットワーキン グイベント (メディア・旅行関係 者) ⑦旅行会社招請 ⑨その他 (ニュースレター)	③インフルエンサー招請 ④メディア招請 ⑤セミナー・ネットワーキン グイベント ⑧広告 ⑨インターネット (WEB・SNS) ⑩共同広告
D	訪日未経験者 20～40代 夫婦・パートナー	豊かな自然 <ul style="list-style-type: none"> 風景 伝統文化・芸能 <ul style="list-style-type: none"> 温泉・湯治 伝統行事・祭体験 アニメ・映画の舞台訪問 食・お酒 <ul style="list-style-type: none"> ローカルフード マーケット・日用品 料理体験 	<ul style="list-style-type: none"> 訪日旅行未経験者の多い <u>中小規模の都市居住 者の中でも特に個人旅行 者向けへの情報提供が必要</u>。 言語や日本の慣習に対す る不安を持つ割合が比較 的高いことを踏まえ、特に 地方における<u>受入環境の 整備促進が必要</u>。 	④旅行会社招請 ⑧人材育成 ⑨その他 (ニュースレター)	①インターネット (WEB・SNS) ②インフルエンサー招請 ③メディア招請 ⑤広告 ⑥共同広告 ⑦旅行博・イベント



「中国で日本への団体旅行を解禁」 神戸観光局より、観光事業者関係者へのインタビューを行いました！！

- ・中国政府は10日、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて制限してきた、中国人の団体旅行と一部の旅行商品について、10日から日本を含む78の国と地域を対象に、新たに解禁すると発表。
- ・日本以外の対象国には、韓国やインド、アメリカ、オーストラリア、イギリス、ドイツなどが含まれている。
- ・中国政府は新型コロナウイルスの感染が最初に拡大した2020年1月以降、国内の旅行会社に対して、海外への団体旅行の取り扱いを制限してきましたが、ことし2月以降、段階的に解禁を進めていた。
- ・日本を訪れる中国人旅行者は2020年以降、「ゼロコロナ」政策の影響で低迷していたが、ことし春ごろから、すでにビザを取得している人などを中心に個人の旅行者が増えるなど回復傾向が続いていた。
- ・今回、団体旅行も解禁されたことで、今後、日本を訪れる中国人旅行者の数は大幅に増えるとみられる。

出典：2023年8月10日 NHKニュースより抜粋 <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230810/k10014159491000.html>

Q. 中国からの訪日外国人旅行者の「動向」について 今後どうなると思いますか？

▶ 既に個人旅行者比率は、2019年時点で66%だったがさらに加速する。団体旅行比率は2019年時点では33%あったが、おそらく向こう**5年以内に10%以下になる**。中国経済（今は不透明だが成長率は日本より高い）の成長に伴い、貧富の差が拡大し、**富裕層は本当に富裕層に**。そのほとんどが沿岸部の都市居住（**北京、上海、広州、深セン**）

【訪日外国人旅行者向け観光関連事業者関係者】

▶ 団体旅行客の制限が解除されたため、またツアー客は戻ってくるかと考えられる。あとは、**コロナ前に約7割を占め、可処分所得の高い個人客の動向にも注視**が必要。どのタイミングで観光客数および消費額がコロナ前を越えてくるのかは、まだ正確には読み切れない部分はあると思うが、2030年の6,000万人時代に向けては**大陸からの観光客も主要な部分となる予測のため**、長期的には回復傾向と見ている。

【越境EC事業者関係者】

▶ 中国の景況感はとても弱含んでおり、とても**コロナ前のインバウンド消費水準に戻るには時間を要する**ものと感じている。

【OTA会社関係者】

Q. 中国からの訪日外国人の「ニーズ」は、コロナ後からどのように変化したでしょうか？

- ▶ 中国国内の商品が発展するとともに、**爆買の対象が変わる**。過去買っていたものをもう買わないことがあると思う。
【中国人インフルエンサー】
- ▶ **個人旅行化・知識層、英語もしゃべれる、高級化。その中心は30代、40代**
(Ctripは、会員のうち、資産20億円以上を富裕層と定義。その6割が30代)
【訪日外国人旅行者向け観光関連事業会社 関係者】
- ▶ **文化観光、学習旅行、医療美容観光**、ビジネス観光、富裕層向け個別コーディネート観光などがニーズとして表れている。
【越境EC事業会社 関係者】
- ▶ 先日の不動産大手企業の報道、またゼロコロナからの反動、失業率の高さ等から、中国国内でも先行きの不透明感が出ており、財布の紐がやや固くなっている印象。むやみやたらに爆買をするというよりは、**コト消費の体験型コンテンツや、イマ消費で今ここでしか出来ないものへの出費が増える傾向**となりそう。親子旅行、教育ツアー、美術館/博物館、グルメ、キャンプ等、地方含めニーズも多様化していくと見ている。
【越境EC事業会社 関係者】

Q. 中国からの訪日外国人の今後解決すべき「課題」があるとしたら、どのような事が考えられますか？

- ▶ 中国が進んでいる中、**日本のもの、サービスが過去のような優位性をそのまま維持するのが難しく**、いかに魅力を感じさせることが課題になる。
【中国人インフルエンサー】
- ▶ **中国に対する偏見**。体感だが、どこの国の人だからという差別的なことを発言されている年配の方たちに会うことがある。(発言しないけどそう思っている人はもっといるかもしれない)
特に30代以下くらいの中国人でお金を持っている人の感性は日本人よりも上品な人もいる。**国際感覚で言うと彼らの方が優れているしハングリー**さも持ち合わせている。
中国は人口が多いので、どの中国人を相手にするのか？中国人というたった一つのペルソナやTVで流れるイメージや知り合いの経営者から聞いた困った客の像だけで、商売をするのは危険だと思う。ちゃんと彼らに消費をしてもらうなら**彼らを理解することが課題**。
【ビックデータ調査・コンサルティング事業会社 関係者】
- ▶ **一人あたりの消費額増加**。人数が多く来てオーバーツーリズムに再びなることが予見されているが、数ではなく、いかに消費させるかが課題になっていると思う。
【OTA会社 関係者】

じゃらん宿泊旅行調査2023 抜粋

調査時期：2023年4月（4/1～4/21） ※コロナ5類化前

調査内容：① 2022年度（2022年4月～2023年3月）1年間の国内宿泊旅行（出張・帰省・修学旅行などを除く）実態
② 昨年度1年間に実施した全ての宿泊旅行（出張・帰省・修学旅行などを除く）の行き先と回数について、また、一人最大3件までの個別宿泊旅行について、具体的な内容を調査

2022年度 市場の動き



- 平均年間旅行回数は2.88回と**過去最高値**。
- 旅行実施率は回復基調であるものの、コロナ以前（2018年度）とはまだ12pt差がある。
☞ 通常時も頻繁に旅行する層（旅行好き）の旅行回数は増加。全体的な旅行実施率が回復途中。

国内宿泊旅行実施率、宿泊旅行実施者の年間平均旅行回数

	2018年度	2019年度	2021年度	2022年度	前年度比 2021-2022	コロナ前 2018-2023
宿泊旅行実施率	56.4%	53.6%	34.1%	44.2%	+10.1pt	▲12.2pt
宿泊旅行実施者の 年間平均旅行回数	2.78回	2.70回	2.59回	2.88回	+0.29回	+0.1回

過去
最高値

性・年代別宿泊旅行実施率の推移

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	前年度比 2021-2022	コロナ前 2018-2023
全国18～79歳男女	56.4	53.6	31.2	34.1	44.2	+10.1	▲12.2
18～34歳 / 男性	56.2	55.1	35.7	39.1	50.0	+10.9	▲6.2
18～34歳 / 女性	64.3	61.4	39.1	43.9	56.2	+12.3	▲8.1
35～49歳 / 男性	53.5	53.5	31.4	33.3	42.0	+8.7	▲11.5
35～49歳 / 女性	56.2	52.1	27.1	31.0	43.4	+12.4	▲12.8
50～79歳 / 男性	54.8	51.4	30.2	33.0	42.4	+9.4	▲12.4
50～79歳 / 女性	56.8	52.9	29.2	31.4	39.9	+8.5	▲16.9

◀ 若年層の回復が早く34歳以下の宿泊旅行実施率は5割以上。年齢が上がるにつれて回復が遅い。

最新の国内旅行ニーズ

国内宿泊旅行について、「宿泊旅行調査」と合わせて、最新のニーズ調査をご紹介します。（今年7月～冬のニーズを調査）



・季節的な変動はあるものの、「宿」「温泉・露天風呂」「食」は、常に宿泊旅行の主目的となっている

国内宿泊旅行の目的

		調査数	宿でのんびり過ごす	温泉や露天風呂	地元のおいしいものを食べる	自然観賞 (花見・紅葉など)	名所・旧跡の観光	テーマパーク (遊園地・動物園・博物館など)	買い物・アウトレット	イベント (お祭り・スポーツ観戦・コンサートなど) 参加	アウトドア (キャンプ・海水浴・釣り・登山など)	まちあるき・都市散策	各種体験 (手作り・果物狩りなど)	スポーツ体験 (スキー・スノーボード・マリンスポーツ・ゴルフ・テニスなど)	ドライブ・ツーリング	帰省・親族やパートナーに会いに行く*	その他	未定・わからない
2023年 夏 (7月～8月) お盆を除く	割合 (%)	(580)	28.4	35.2	35.2	17.1	25.9	22.9	18.6	16.7	16.7	19.3	5.5	6.2	14.3	14.7	2.4	3.8
	前年同月との差 (pt)		- 2.0	- 6.7	- 5.0	5.0	3.3	0.1	- 0.9	0.7	- 3.0	- 2.5	0.2	0.5	- 2.9		- 1.3	- 1.3
2023年 お盆	割合 (%)	(303)	23.8	31.0	23.1	14.5	18.5	15.8	16.8	13.5	16.2	15.5	5.0	6.3	15.5	28.4	1.7	5.0
	前年同月との差 (pt)		- 4.4	- 5.3	-16.5	3.9	0.2	- 4.7	- 3.7	- 2.3	- 0.3	- 4.3	- 0.5	0.4	1.9		- 5.3	- 3.1
2023年 秋 (9月～11月)	割合 (%)	(747)	30.3	44.8	36.0	28.5	31.1	19.0	15.7	10.4	11.5	21.8	4.1	5.6	14.5	9.6	3.9	4.8
	前年同月との差 (pt)		0.7	- 6.1	- 5.7	3.5	2.5	0.4	- 0.9	- 3.8	- 1.2	- 3.4	- 2.7	0.6	- 0.6		0.8	0.1
2023年 冬 (12月) 以降	割合 (%)	(650)	29.8	49.7	35.5	14.6	24.5	13.5	14.8	8.6	6.5	20.5	3.2	8.9	10.8	11.5	3.1	7.8
	前年同月との差 (pt)		- 4.6	- 5.3	- 3.6	- 1.0	1.7	- 0.9	- 1.1	- 1.1	- 1.6	- 2.0	- 1.8	0.3	- 2.1		0.4	- 1.6

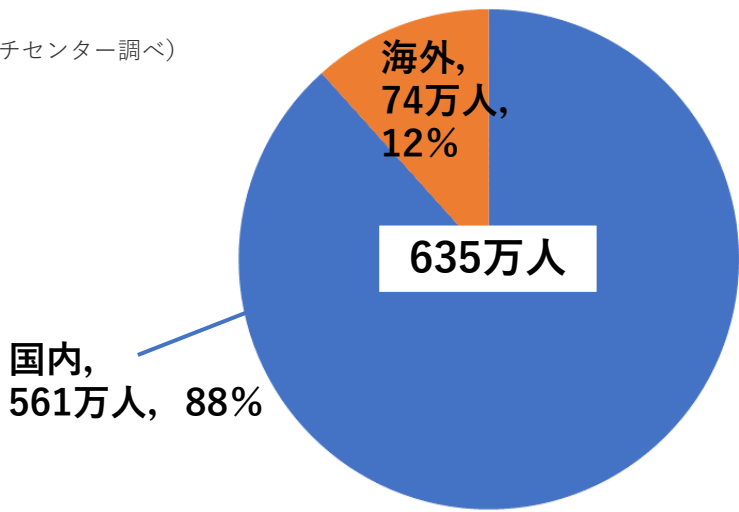
※ニーズが20%を超えているものについて網掛け

*「帰省・親族やパートナーに会いに行く」は第18回調査から聴取。

出典：「国内宿泊旅行ニーズ調査」（リクルートじゃらんリサーチセンター調べ）

<参考> 2019年 神戸市延べ宿泊者数

- ・2019年の市内宿泊者数では、国内旅行者が9割近くを占めている
- ・引き続き市内の宿泊需要を一層高めるために、「国内旅行者のニーズ」を把握することは重要



神戸観光局独自調査「神戸港観光資源調査」①

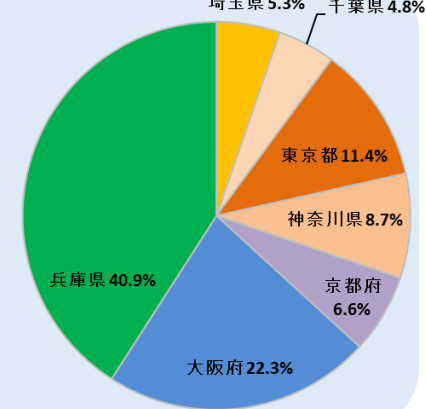


(1) 調査概要

・ 2023年3月 神戸観光局でインターネットによる「神戸港観光資源調査」を実施。

- ◆ 実査期間 2023年3月11日(月)～2019年3月12日(火)
- ◆ 対象者 インターネットリサーチ「マクロミル」のモニタ会員 1,048名
- ◆ ターゲット設定
 - [年代] 20代、30代、40代、50代、60代以上
 - [性別比] 男性 49.6%：女性 50.4%
 - [居住都道府県] 右表のとおり

都道府県(n=1048)



👉 今回は、その独自調査の結果を一部紹介します。

(2) 調査結果

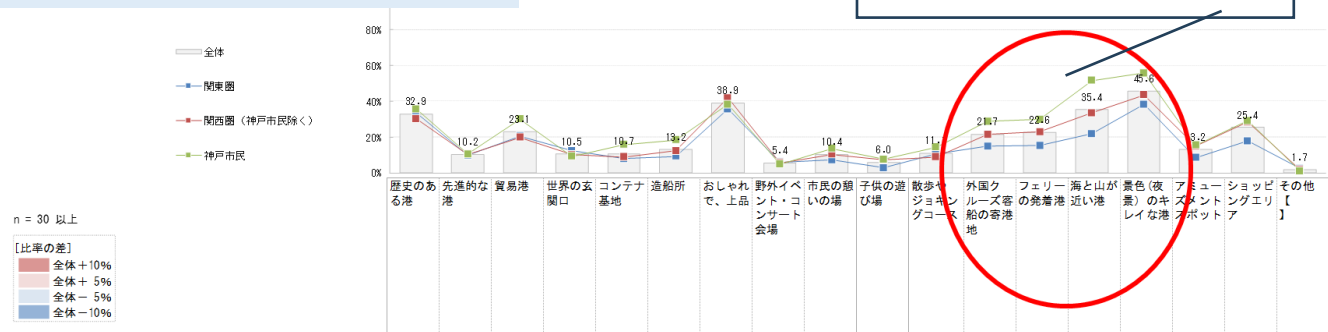
Q.「神戸」と聞いた時、どのようなイメージをお持ちですか？(いくつでも)

「神戸」のイメージにおいて特に、神戸市民と関東圏の認識にGAPが見られて部分

「神戸の港のイメージ」を聞いたところ、神戸市民と関東圏とで大きく差が開いたのは、

- ① 海と山が近い港
- ② 景色(夜景)のキレイな港

👉 関東では、神戸市民ほど、「海と山が近い港」「景色(夜景)のキレイな港」という魅力について認知度が低い



	全体	関東圏	関西圏(神戸市民除く)	神戸市民
全体 (1,048)	32.9	10.2	23.1	10.5
割付セル	31.6	30.3	10.3	10.1
神戸市民 (316)	35.8	10.4	30.1	9.2
年代	22.3	16.2	14.6	16.2
性別	35.8	10.8	29.2	10.0
性別	48.5	11.5	36.2	15.4
性別	18.2	4.5	10.6	3.0
性別	31.1	10.6	20.5	8.3
性別	27.3	4.5	23.5	4.5
性別	43.9	11.4	28.8	13.6
性別	35.8	12.7	25.4	13.7
性別	30.1	7.8	20.8	7.4

(2) 調査結果

Q.神戸の港におけるイベントや施設などを知っていますか？／興味・関心はありますか？

【認知度】

- 1位 神戸ハーバーランド(1位)
- 2位 南京町 (2位)
- 3位 神戸ポートタワー (3位)
- 4位 メリケンパーク (6位)
- 5位 旧居留地 (7位)
- ※ () は、関心度の順位

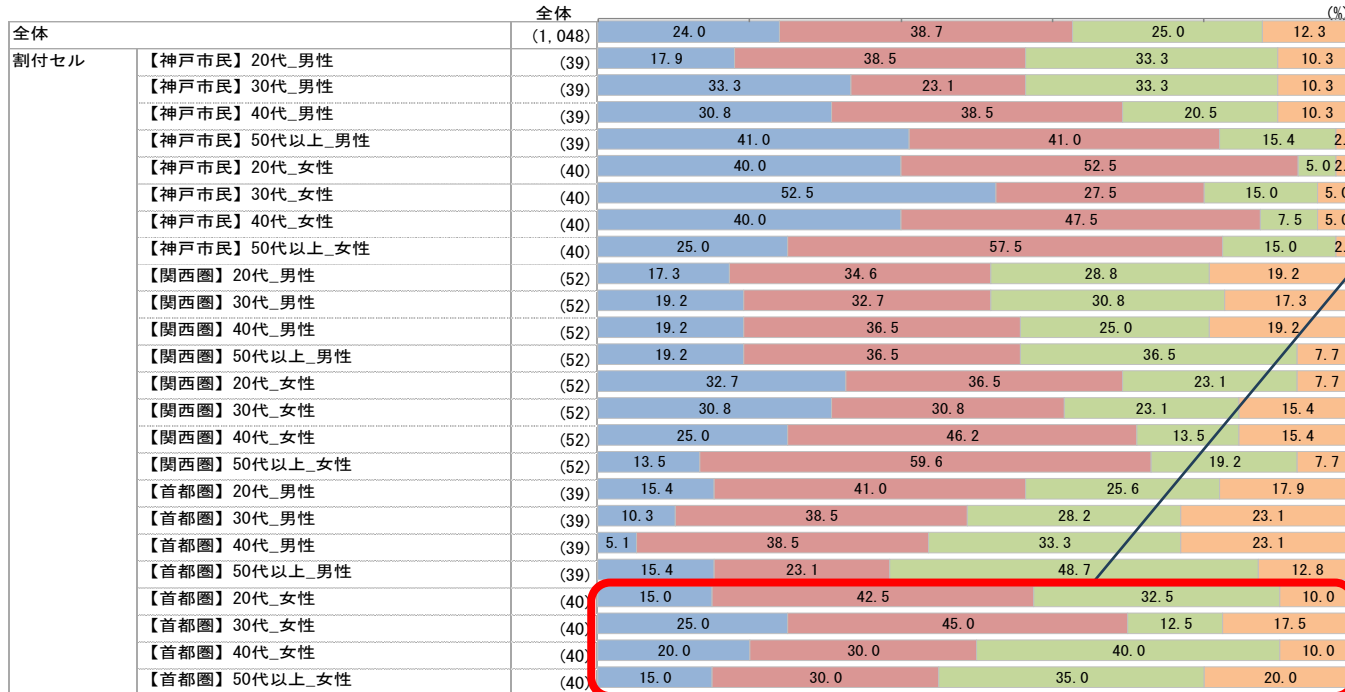
【関心度】

- 1位 神戸ハーバーランド(1位)
- 2位 南京町 (2位)
- 3位 神戸ポートタワー (3位)
- 4位 「みなとHANABI」 (13位)
- 5位 遊覧船景観 (10位)
- ※ () は、認知度の順位

「みなとHANABI」や「遊覧船景観」は認知度のランキングは高くないものの、**興味・関心度のランキングでは上位**という結果に！

「みなとHANABI」の興味・関心度について深掘り！

■とても興味がある ■やや興味がある ■あまり興味がない ■まったく興味がない

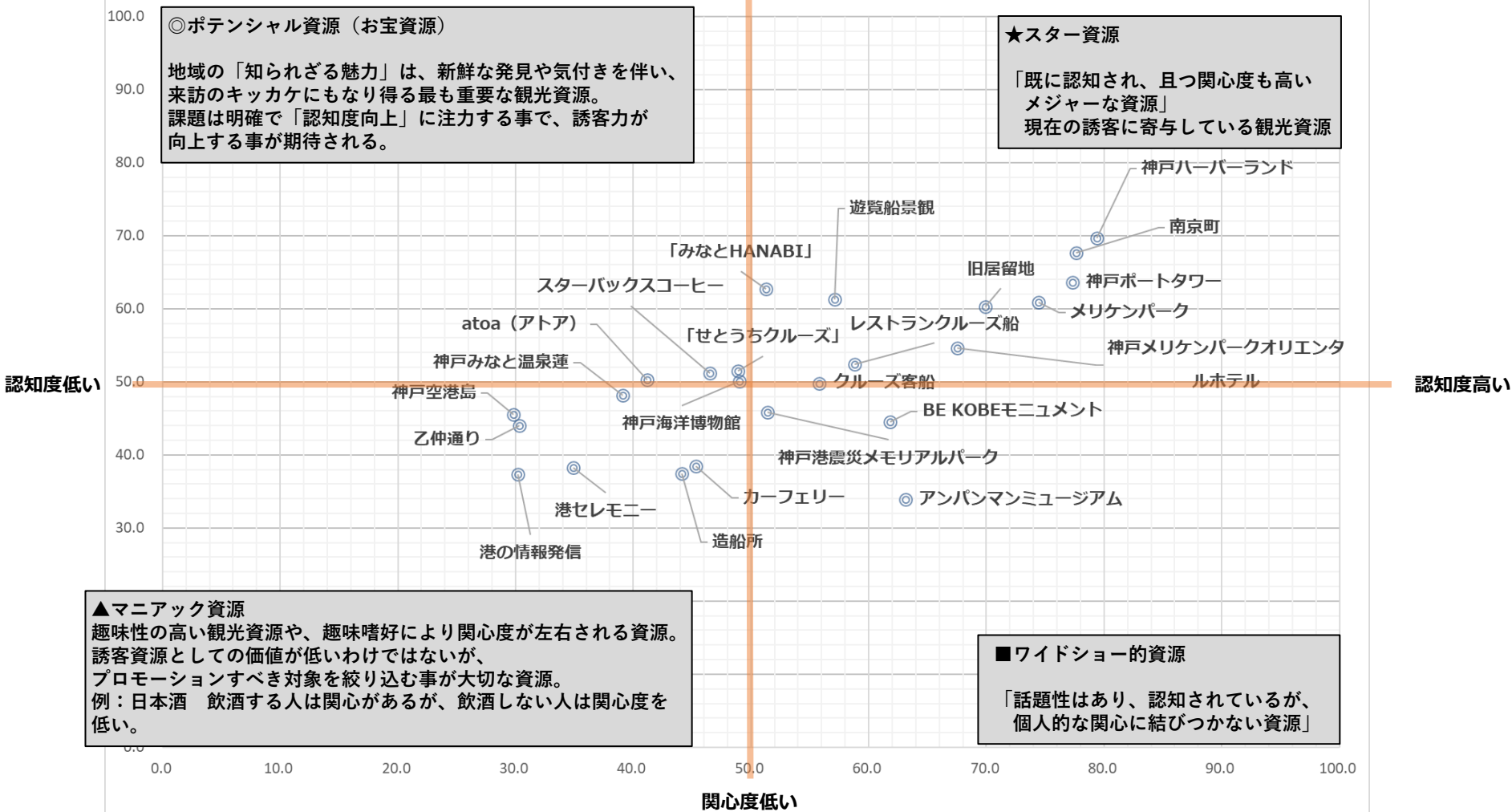


関東における「みなとHANABI」の認知度は22%にも関わらず、**関心度**（とても興味がある・やや興味がある）は**神戸市民同様に50%前後の人が関心を示している。**

◀首都圏で見ると、30代女性は、全体平均を超える70%が関心があると回答。市民の為の花火大会から、潜在的に首都圏からの観光客の誘客資源としての可能性が高い資源と言える。

(2) 調査結果

認知度 × 関心度 (全データ)
関心度高い



👉 スター資源をしっかりとアピールしつつも、そのほかのポテンシャル資源などを積極的にアピールすることで、神戸への誘客の糸口になる可能性がある。



昨年の9月にエンゲージメントの高かった投稿を紹介。

観光スポット編

秋のトレンドを先取!

↑ いいね数 上位ランキング

BEST 1



2022/9/21

BEST 2



2022/9/28

BEST 3



2022/9/14

BEST 4



2022/9/9

BEST 5



2022/9/22

2022年9月

昨年9月は北野異人館の「トリックアートを楽しむ」が**1位**に。投稿記事内ではリアル動画でリアル感たっぷりの内部紹介がされている。
2位⇒ 「レトロな旧校舎で手作り体験」。旧神戸市立北野小学校をそのまま利用した体験型観光スポット「北野工房のまち」。
3位⇒ 「神戸で、神戸の食材に出会う」。現在は東遊園地で定期開催されているFARMERS MARKET。地産地消を楽しむ人気スポットになっている。
4位⇒ 「神戸の元気が溢れる南京町」。中華グルメだけではなく、雑貨や骨董品などを販売するお店もあり、9月は中秋節のイベントが開催される。
5位⇒ 「神戸の歴史をたどる」。神戸の歴史博物館では古代から現代にいたるまで神戸の歴史を知ることが出来る。



2022/9/2



2022/9/7



Instagram英語アカウントで人気のあった投稿

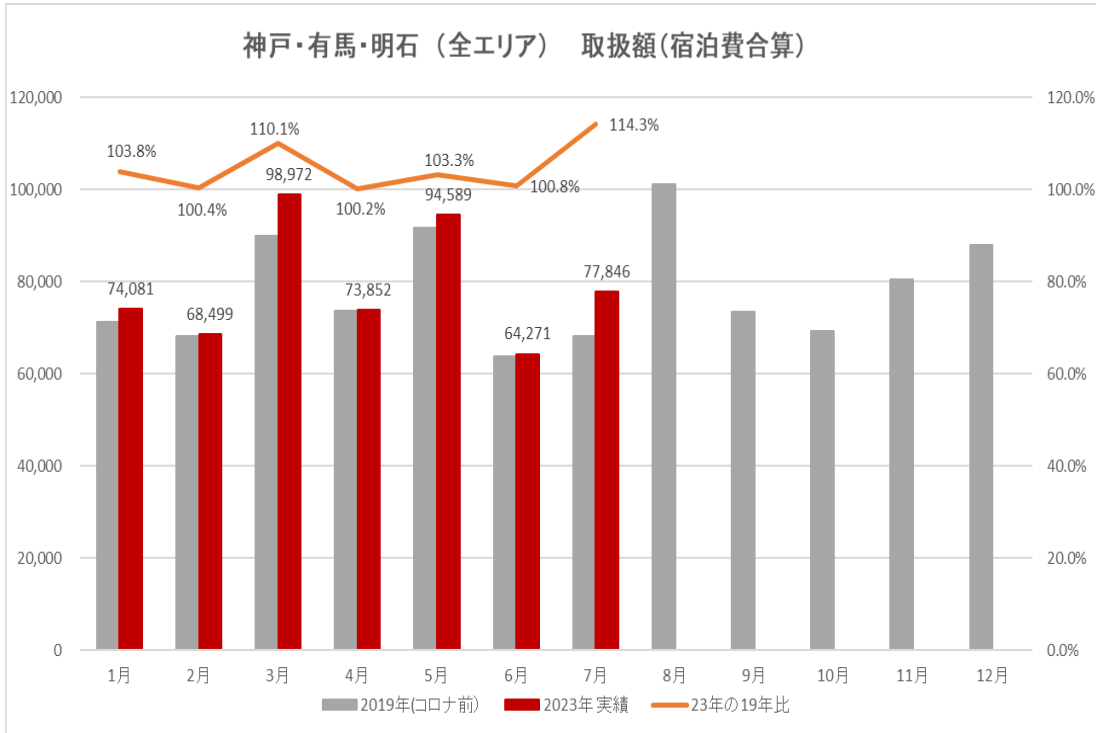
日本語アカウントでは上位に上がりにくい「アート系」の投稿が上位に。外国人ユーザーの方が、アートへの興味関心が高い可能性が窺える。

今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング

■ 直近のOTA予約状況について

- 7月 全市（明石含む）の取扱額：2019年同月比：114.3%、人泊数：102.0%、単価：112.1%。
- 夏休みなどの影響によりここ数か月落ち込んでいた人泊数は、コロナ前と同水準まで回復。
- 前月に引き続き市街地・有馬ともに単価が上昇傾向であることから、取扱額は2019年を超える結果となった。

【実績】



【実績】2019年度比

	5月	6月	7月
全市			
取扱額	103.3% (96.5%)	100.8% (97.3%)	114.3% (98.9%)
人泊数	94.5% (98.5%)	89.6% (96.8%)	102.0% (96.8%)
市街地			
取扱額	102.4% (92.0%)	100.8% (95.8%)	115.2% (98.1%)
人泊数	97.8% (101.8%)	92.4% (100.4%)	105.6% (99.2%)
有馬			
取扱額	106.2% (107.9%)	96.9% (97.2%)	107.5% (98.3%)
人泊数	96.1% (102.8%)	81.2% (86.4%)	88.9% (88.8%)

黒太字は

2023年-2019年比（ ）内は同時点の2022年-2019年比

【このデータの特徴】

現在の国内観光における予約手段として、急速にその影響力が高まったのが、「OTA = Online Travel Agent」。代表的なOTAとして、じゃらんnet、楽天トラベル、一休、Booking.com、JTBるるぶトラベルが上位を形成している。サービスが登場してから個人旅行やビジネス出張などの手配手段として継続的に発展しており、最近ではパソコンではなくスマホからの利用（予約）が主となってきている。2022年のコロナ影響下の中でも、利用者数は増加傾向にあり、トップシェアのOTAの利用者数は1368万人（対前年比177%）と成長している。最近では観光庁のGOTOキャンペーンや、全国旅行支援などで利用を開始する人も増えたと推察される。

一方で、大型宿泊施設や各種ホテルグループでは、OTAや旅行代理店（リアルエージェント）からの予約ルートに加えて、エージェントを介さない自社HPからの「直予約」の強化を図っている。

上記で掲載しているデータは、全ての販路を集計しているわけではないが、特に個人旅行の傾向を分析するには有効なものと考えている。

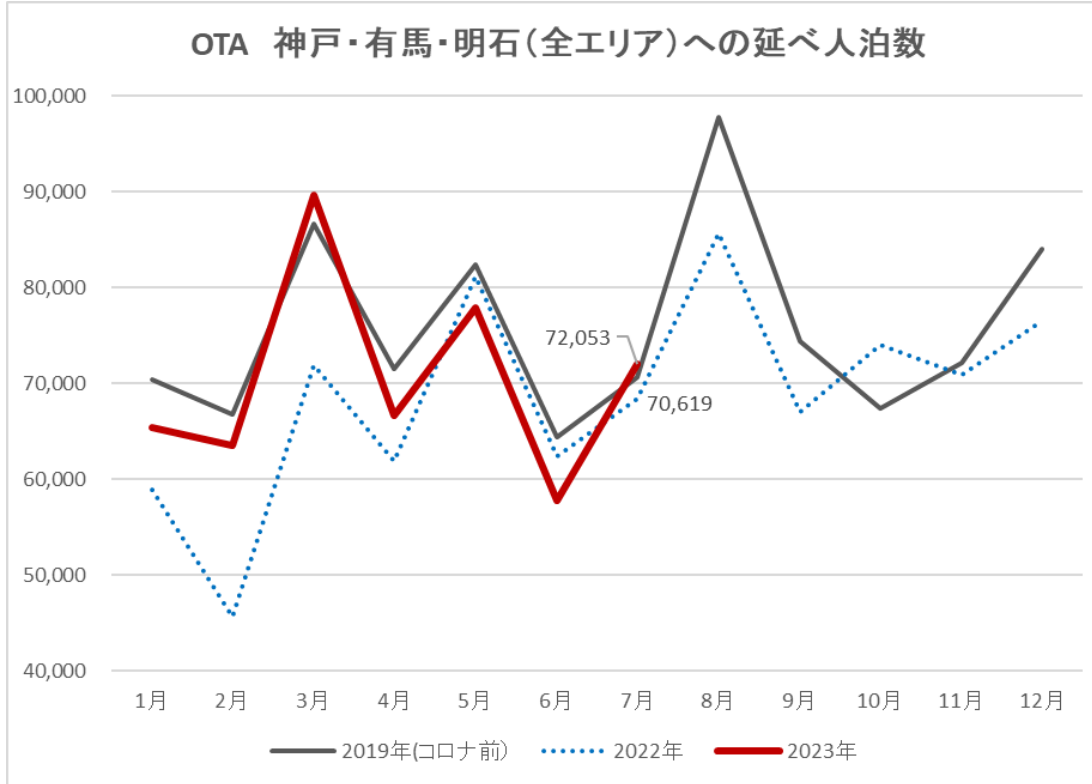
今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング

【DATAに関する基本情報】

- ・某大手OTA（Online Travel Agent）経由での延べ宿泊者数実績
- ・神戸市内の宿泊施設 145施設への月別の延べ人泊数（チェックアウトベース）

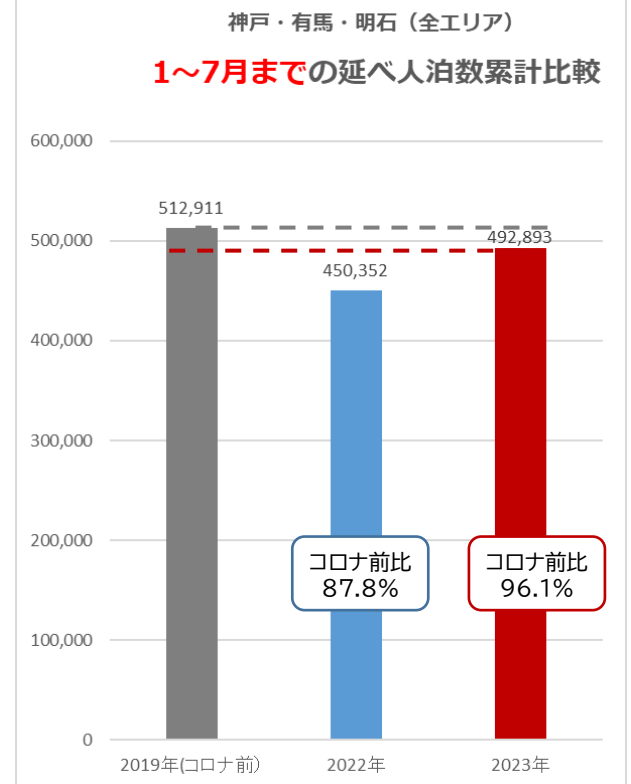
【グラフA】

（単位：人泊）



【グラフB】

（単位：人泊）



【考察① グラフ〔A〕 2023年度の出だし好調】

- ・2023年 1-6月までは、2019年度の季節変動値に近い数値の推移。3月以外は2019年比▲5%～▲10%で推移。
- ・インバウンドが回復傾向のため、人手不足により販売の部屋数を抑えている宿もあり人泊数は2019年水準に届いていない月もあった。
- ・7月は夏休みの影響などもあり、2019年度とほぼ同水準の人泊数に回復。
2019年7月（7万619人泊）の102.0%にあたる7万2053人泊となった。

【考察② グラフ〔B〕 2023-2019 1~7月延べ人泊数累計の比較】

- ・2023年 7月までは、49万2893人泊で、2019年（コロナ前・51万2911人泊）の96.1%まで回復
- ・2022年の7月までの累計（2022年・45万352人泊）と比較すると、前年比109.4%。
- ・コロナ禍が明けてきたこともあり、2022年と比較すると順調に回復してきている。

今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング

【予約】

黒太字は
2023-2019年比（ ）内は同時点の2023-2022年比

【神戸市】

2019年比
〔取扱額〕

	8月	9月	10月	11月	12月	1月
全市						
8.20時点	111.2% (120.1%)	122.0% (142.9%)	130.6% (154.8%)	120.9% (223.6%)	124.8% (158.6%)	8.9% (172.4%)
7.9時点	125.8% (129.0%)	119.8% (150.1%)	122.9% (147.9%)	90.7% 225.0%	112.8% 162.0%	—
市街地						
8.20時点	117.7% (124.3%)	124.7% (147.1%)	122.3% (134.9%)	106.0% (198.8%)	119.5% (169.3%)	10.0% (226.6%)
7.9時点	127.4% (134.4%)	120.9% (168.4%)	101.2% (113.5%)	75.5% 191.9%	101.8% 158.4%	—
有馬						
8.20時点	92.7% (105.7%)	103.4% (119.2%)	125.5% (166.7%)	133.9% (211.9%)	138.6% (169.4%)	5.5% (146.4%)
7.9時点	105.8% (104.5%)	109.7% (119.7%)	149.2% (200.7%)	122.9% 239.2%	146.6% 239.4%	—

【他エリア比較】

2019年比
〔取扱額〕

	8月	9月	10月	11月	12月	1月
淡路島						
8.6時点	126.8% (118.6%)	146.2% (105.2%)	208.2% (132.4%)	211.9% (158.1%)	182.8% (104.4%)	13.8% (97.1%)
7.9時点	153.9% (108.2%)	192.8% (102.6%)	231.3% (127.6%)	206.2% 123.9%	196.2% 89.5%	—
城崎						
8.20時点	91.5% (104.8%)	104.1% (92.9%)	150.8% (158.2%)	181.3% (217.3%)	197.3% (209.0%)	8.6% (157.9%)
7.9時点	111.5% (103.6%)	113.0% (118.1%)	155.8% (208.2%)	209.4% 236.5%	231.3% 302.9%	—

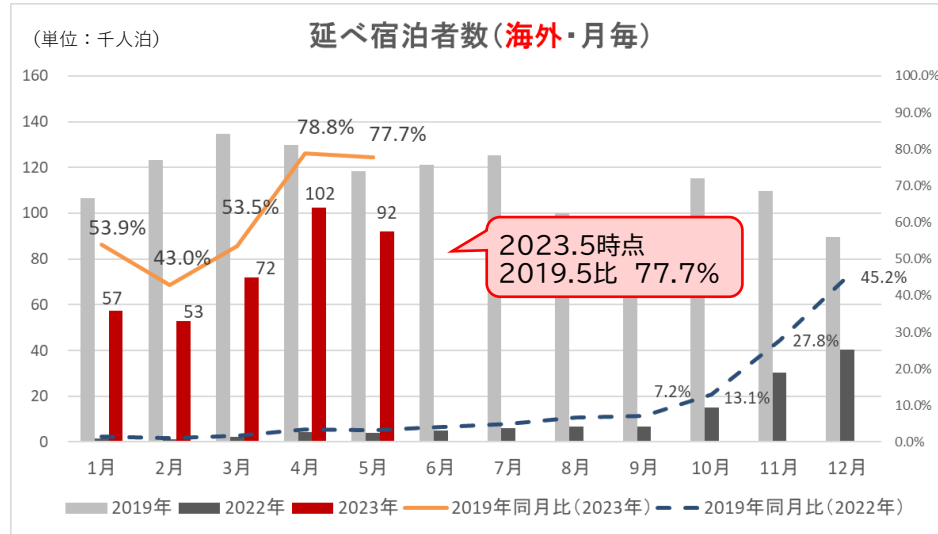
	8月	9月	10月	11月	12月	1月
大阪市エリア						
8.20時点	135.5% (146.8%)	155.9% (199.7%)	182.3% (240.1%)	160.4% (271.5%)	149.2% (292.2%)	10.2% (254.7%)
7.9時点	149.7% (147.9%)	160.7% (232.6%)	176.7% (278.7%)	141.4% 259.9%	128.1% 363.4%	—
京都市エリア						
8.20時点	117.9% (118.6%)	116.4% (150.0%)	130.8% (238.5%)	148.5% (249.2%)	138.6% (249.4%)	13.2% (194.5%)
7.9時点	125.1% (145.6%)	113.0% (157.5%)	108.9% (238.5%)	140.1% 259.4%	127.0% 256.6%	—
東京23区エリア						
8.20時点	123.5% (155.9%)	131.6% (227.2%)	174.1% (353.4%)	161.9% (322.3%)	149.9% (351.4%)	10.4% (348.6%)
7.9時点	134.5% (187.5%)	124.2% (253.5%)	159.6% (374.4%)	143.3% 290.1%	127.0% 441.4%	—

- 10月まではコロナ前を上回る水準まで予約が入っている状況。基本的に人泊数というよりも、単価増が好調な伸びを支えている。
 - 有馬は特に紅葉シーズンの10月以降予約が好調に伸びており、特に12月は大阪・京都などと同様の伸びを見せている。
市街地は10月以降についての伸びが緩やか。先月時点で伸び悩んでいた11月分は大きく回復。
 - 神戸以外のエリアについては、9月以降も好調に推移しているが、要因としては客単価の伸びが全エリアで生じている。
(単価増の影響としては、①高単価な新規ホテルの増加、②ビジネスなども含めた需要回復によるホテルの稼働率増、③人件費・食材費・委託費等原価の上昇などが想定される。)
- 大阪・京都については単価のみならず、人泊数が2019年水準を上回っていることも手伝って、取扱額が好調。

定点観測

(延べ宿泊者数／市内ホテル平均稼働率)

【兵庫県】



※神戸市の延べ宿泊者数については、取得元（観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」）の数値が安定していないため、掲載保留中

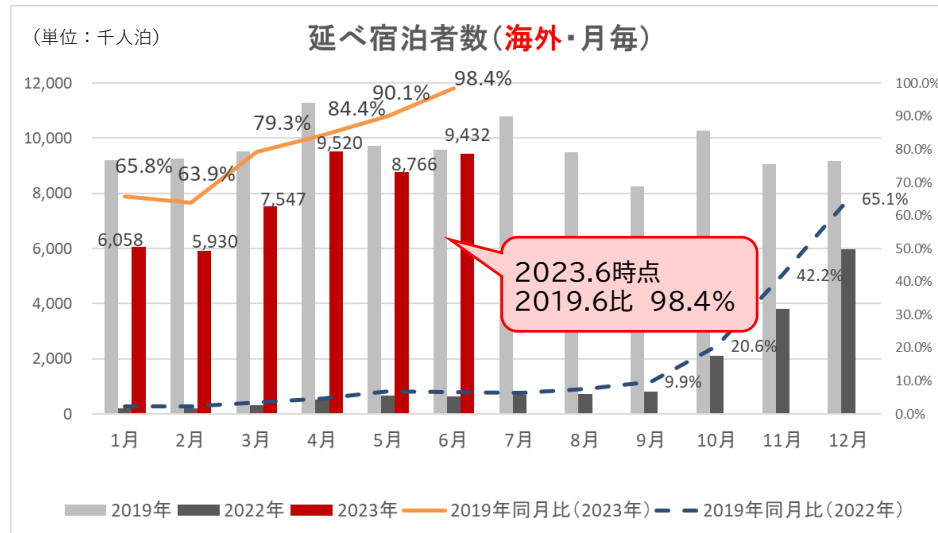
傾向

兵庫県 コロナ前比 約8割 (5月)

全国 コロナ前比 約9割 (5月) ⇒ **約10割 (6月)**

【全国】

※R5.6推計値まで



※コロナ前比較: 2019.1~2019.12をベースに同月比較



- ・兵庫県は4月に引き続き、8割弱で推移
- ・全国的にはコロナ前と同水準まで回復
- ・全国の外国人延べ宿泊者数 国籍別内訳では、韓国が前月から約15%UPの約100万泊となった。

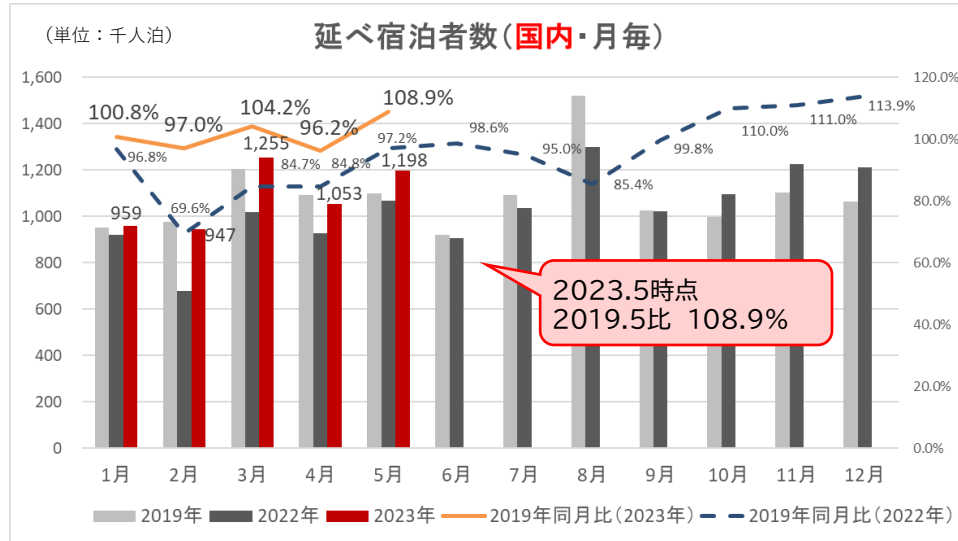
👉 **【全国】外国人延べ宿泊者数**
国籍別は[40ページ](#)、都道府県別は[41ページ](#)へ

出典：【全国・兵庫県】観光庁「宿泊旅行統計調査」

- ・令和5年5月 第2次速報値
- ・令和5年6月 第1次速報値

延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【国内比較】 ※R5.5まで

【兵庫県】

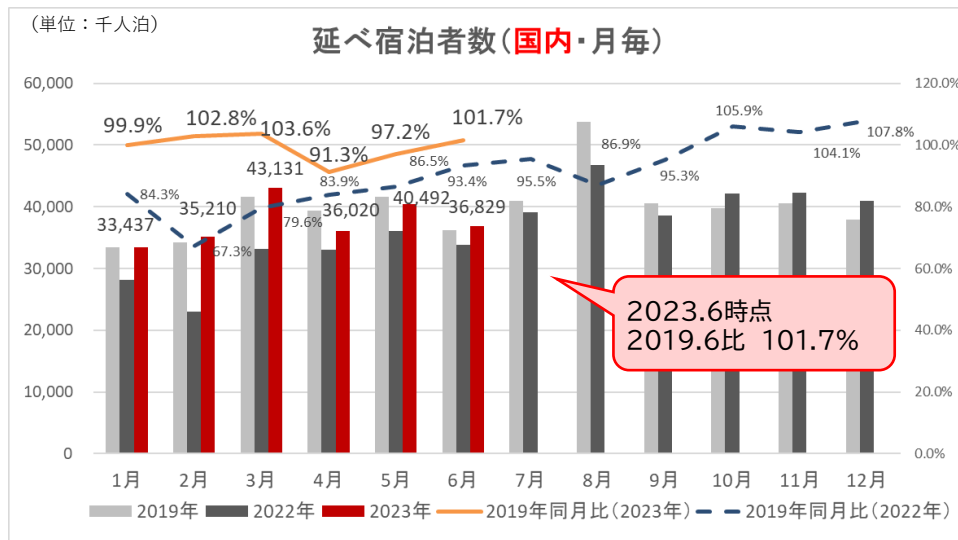


※神戸市の延べ宿泊者数については、取得元(観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」)の数値が安定していないため、掲載保留中

傾向

兵庫県・全国 コロナ前比と同水準に回復

【全国】 ※R5.6推計値まで

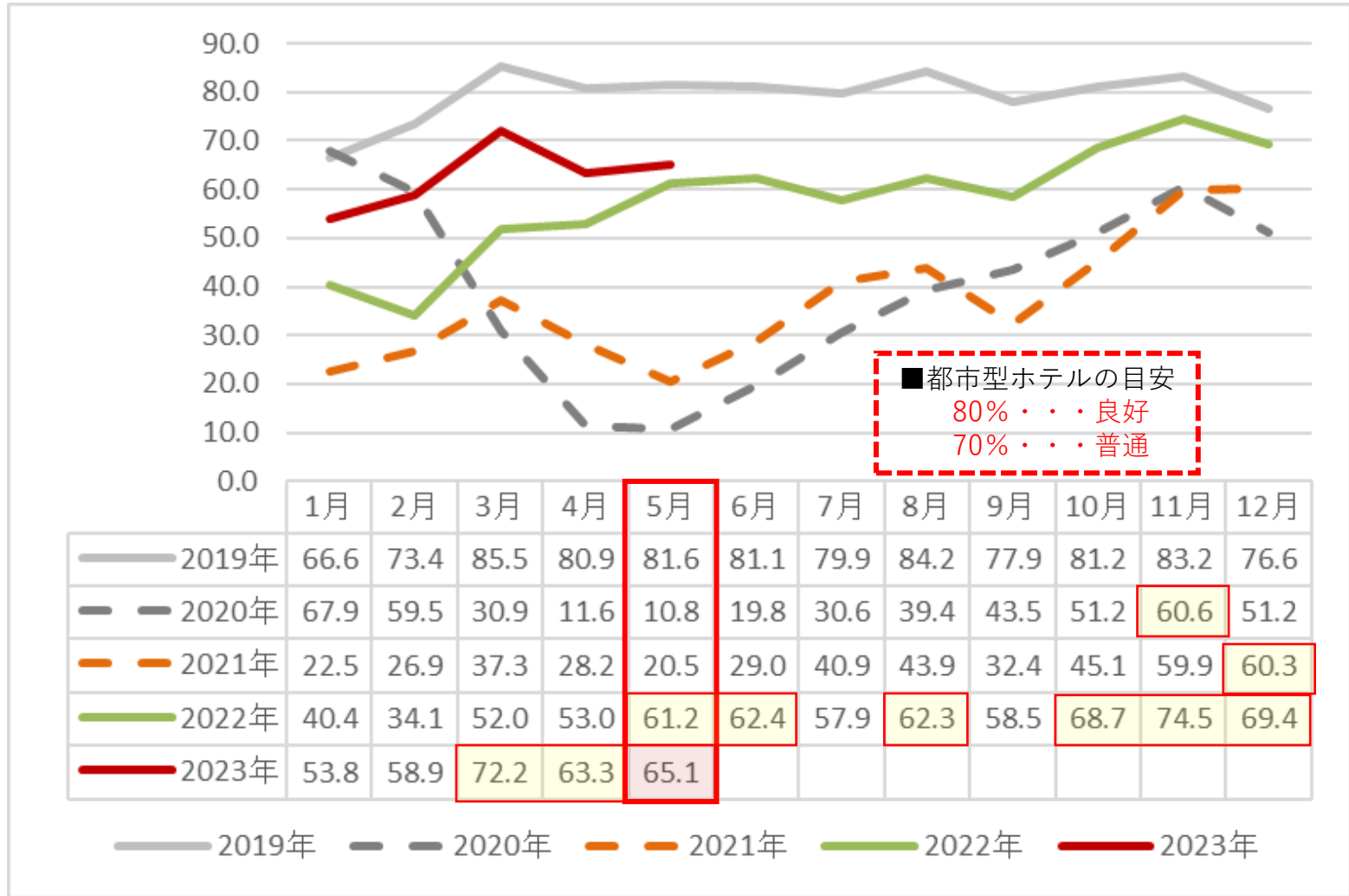


※コロナ前比較:2019.1~2019.12をベースに同月比較

出典：【全国・兵庫県】観光庁「宿泊旅行統計調査」
 ・令和5年5月 第2次速報値
 ・令和5年6月 第1次速報値



市内ホテル平均稼働率



※10社ベース

※8月（6月実績）は出典元からの公表なし

【参考】英調査会社STR発表
6月 国内ホテル稼働率
全国：73.1%
（前月比 0.6pt）

6月のホテルの全国平均稼働率は73.1%。前月比0.6ポイント上昇した。「全国旅行支援」が7月以降も続くか不透明な自治体が多く、駆け込み需要が増えたとみられる。日別で稼働率が最高だったのは、最終土曜日の24日(85.9%)だった。

インバウンド情報
(訪日外客数／ターゲット国の傾向分析)

2023年月別訪日外客数(対2019年比)



訪日外客数(全国)			
	2019	2023	2019比
5月	2,773,091名	1,899,176名	▲31.5%
6月	2,880,041名	2,073,300名	▲28.0%
7月	2,991,189名	2,320,600名	▲22.4%

- ・訪日外客数は6月に2020年2月以降、初めてひと月で200万人を超え、7月も引き続き230万人を超えるなど、着実な回復を見せた。
- ・なお、2023年上半年（1～6月）で1000万人を突破している。
- ・韓国、台湾が牽引しているものの、**中国、アメリカからの外客数が急速に増加傾向にある。その他、東南アジアや北米豪においては、2019年を上回るほどの外客者数を記録している。**
- ・一方で観光現場では、急速過ぎる来訪者の回復と人員不足とで、受入体制が追い付かない事態もあり、来訪者のマネジメントが今後の課題になることが予見される。

2022.6.10～ 添乗員付きパッケージ

ツアーに限定した訪日観光が再開。

9/7～ ワクチン3回接種を条件に入国時陰性証明不要、添乗員無しパッケージツアーの容認、1日当たり入国上限を5万人に。

10/11～ 1日当たりの入国者数の上限撤廃、短期ビザ免除、個人旅行解禁。入国時検査や待機もワクチン3回接種証明が陰性証明で原則撤廃。

2023.4.29～ 新型コロナウイルス5類化に伴い、日本の出入国者に求めていたワクチン3回接種証明や陰性証明の提出が不要に。

○水際対策(厚労省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00209.html

出典: 日本政府観光局(JNTO)8/16プレスリリース「訪日外客数(2023年7月推計値)」

訪日外客数 Visitor Arrivals			
	2019	2023	伸率 Change %
1 Jan.	2,689,339 (2,345,029)	1,497,472 (1,308,606)	-44.3 (-44.2)
2 Feb.	2,604,322 (2,341,479)	1,475,455 (1,297,458)	-43.3 (-44.6)
3 Mar.	2,760,136 (2,411,650)	1,817,616 (1,582,518)	-34.1 (-34.4)
4 Apr.	2,926,685 (2,640,569)	1,949,236 (1,738,172)	-33.4 (-34.2)
5 May	2,773,091 (2,455,865)	1,899,176 (1,656,118)	-31.5 (-32.6)
6 Jun.	2,880,041 (2,614,533)	* 2,073,300	* -28.0
7 Jul.	2,991,189 (2,713,329)	* 2,320,600	* -22.4
8 Aug.	2,520,134 (2,206,746)		
9 Sep.	2,272,883 (1,913,105)		
10 Oct.	2,496,568 (2,177,382)		
11 Nov.	2,441,274 (2,145,425)		
12 Dec.	2,526,387 (2,292,029)		
1～7 Jan.-Jul.	19,624,803 (17,522,454)	* 13,032,900	* -33.6
1～12 Jan.-Dec.	31,882,049 (28,257,141)		

訪日外客数のうち、*印の値は暫定値、その他の値は確定値。

2023年7月訪日外客数の各国・地域別ランキング(対2019年比)

国・地域	総数				2023 総数			
	2019年 7月	2023年 7月	(順位)	伸率 (%)	2019年 1月～7月	2023年 1月～7月	(順位)	伸率 (%)
韓国	561,675人	626,800人	(1位)	11.6	4,424,333人	3,755,300人	(1位)	▲ 19.0
台湾	459,216人	422,300人	(2位)	▲ 8.0	2,940,065人	2,192,900人	(2位)	▲ 28.6
中国	1,050,420人	313,300人	(3位)	▲ 70.2	5,582,885人	908,000人	(5位)	▲ 86.9
香港	216,810人	216,400人	(4位)	▲ 0.2	1,314,699人	1,126,100人	(4位)	▲ 17.1
米国	156,865人	198,800人	(5位)	26.7	1,031,989人	1,171,000人	(3位)	11.1
中国	1,050,420人	313,300人	(3位)	▲ 70.2	5,582,885人	908,000人	(5位)	▲ 86.9



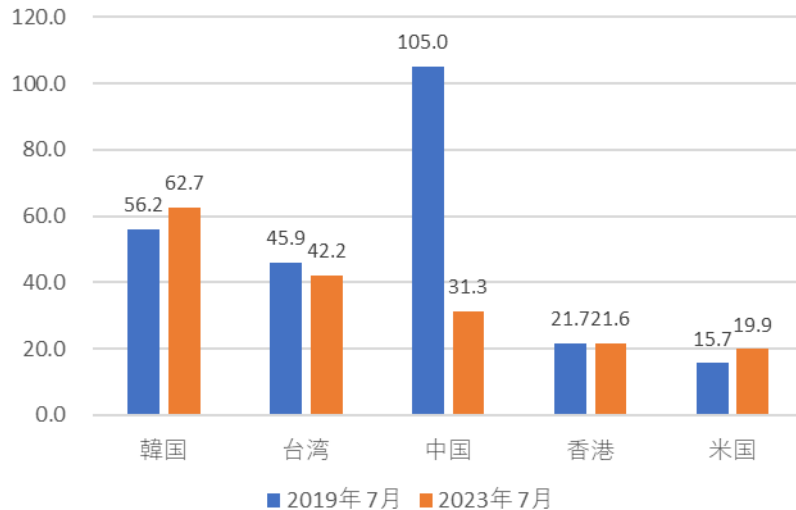
・アメリカが以前好調に推移しているものの、東アジアが増加傾向を強めた。特に韓国がコロナ前を上回る水準に。

※2019年7月 1位

7月動向

- 7月の訪日外客数は、2019年同月比 77.6%の 2,320,600 人となり、**200万人を突破した前月から約12%増と大幅な増加を見せた。**なお、日本行きの海外旅行制限措置が続いていた**中国を除く総数では2019年同月比103.4%と、新型コロナウイルス感染症拡大前の実績を上回っている。**
- 地域別では、**韓国等をはじめとした東アジア地域において訪日外客数が増加**したこと、また、欧米豪中東地域では特に米国やカナダにおいて2019年同月比を超える実績となったことが今月の押し上げ要因となった。なお、国際線定期便に関しては、2023年夏ダイヤ時点でコロナ禍前の約6割まで運航便数が回復し、その後も東アジアを中心に増便・復便が続いている。
- 新たな観光立国推進基本計画（令和5年3月31日閣議決定）等を踏まえ、観光立国の復活に向けて、観光地・観光産業について持続可能な形で「稼ぐ力」を高めるとともに、地方誘客や消費拡大を促進していく必要がある。国内関係者が連携し、海外旅行会社等へのセールス強化や情報発信を通じた高付加価値旅行、アドベンチャートラベルの推進、MICE誘致等の取組を強化していくことが求められる。

訪日外客数 各国・地域別ランキング



主要ターゲット国の旅行行動傾向分析 ～タイ～



by KTBインバウンドTM



KOBE TOURISM BUREAU
神戸観光局

- ・人口・・・6,980万人(2020年12月)
- ・GDP(1人当たり)・・・2019：7,884米ドル → 2021：7,336米ドル
(cf. 日本 2019：4万1千米ドル → 2021：3万9千米ドル)
- ★国際旅行支出・・・2017：105億米ドル → 2018：121億米ドル → 2019：124億米ドル
- ★訪日旅行者数・・・2017：99万人 → 2018：113万人 → 2019：131万人



- ・訪日旅行者の性・年代・・・2019 男性：女性＝40:60 / 男性の7割が10～30代、女性は40代もボリュームゾーン
2021 男性：女性＝32:68 / 男性の7割が10～30代、女性の7割が10～40代
- ・情報収集媒体・・・① YouTube(70.4%) ② Facebook(61.7%) ③ [Pantip](#)(44.0%) *タイで人気No.1の掲示板



<タイの効果的なWebプロモーション>

タイ人は、タイ語を使って「一般的な単語や質問」を検索し、「海外の固有名詞、地名、専門用語」を検索する傾向にある。よって、広告出稿をする際は、「タイ語×英語」の検索ワードを組み合わせた出稿がポイント。SNSでは、Facebookを日常的にメッセージのやり取り等ビジネスシーンでも利用していることから、Facebookを活用したプロモーションは効果的である。

タイの最新情報ひとことメモ

・タイ人の最新旅行トレンド(訪日以外のトレンドも含む)

2022年のPantipの閲覧投稿タグランキングでは、1位が「健康」、2位が「食」、8位に「旅行」がランクインしており、タイでも健康志向が高まっている。また、「健康」「旅行」とつなげて「日本食」が検索されることも多く、実際に、タイの日本食レストラン数も2021年の4,370店から2022年の5,325店に増えるなど、タイのトレンドに「日本」がはまる形となっており、訪日旅行への動機にもなっている。

訪日旅行では、FIT化が加速し、7割以上がリピーターとなっていることから、一般の観光地を巡るのではなく、テーマ性のある旅行を好む傾向が高まっており、「毎年行くお気に入りの温泉」「日本にいる家族や友人を訪ねる」「未知の体験」「マラソン大会に出場する」など、それぞれの志向にあった旅行をする人が増加してきている。それに伴い、現地の旅行会社もアウトドア・サイクリング・キャンプなどを主目的にした旅行商品や訪日教育旅行商品の造成に着手することが多くなってきている。

・神戸観光局の動き

10月に開催されるJNTO主催のB to C向けの訪日旅行博「Visit Japan FIT Fair #15」に出展し、神戸ビーフをはじめとした、神戸の食の魅力を中心に、PRをするとともに、現地旅行会社へのセールスによるシリーズ造成依頼を行います。

交通機関に関する情報
(航空業界の状況／クルーズ船寄港状況)

関西国際	2023年 4月	5月	6月
総旅客数(人)	1,651,773	1,808,219	1,892,675
2019年比	▲40%	▲34%	▲30%
国際線 発着数(回)	8,227	8,660	8,786
2019年比	▲38%	▲36%	▲34%
国際線 旅客数(人)	1,127,115	1,233,632	1,353,256
2019年比	▲48%	▲43%	▲37%
うち外国人 旅客数(人)	960,417	989,324	1,095,837
2019年比	▲39%	▲33%	▲28%
国内線 旅客数(人)	524,658	574,587	539,419
2019年比	▲8%	▲4%	▲2%

神戸	2023年 4月	5月	6月
国内線 発着数(回)	2,788	2,845	2,744
2019年比	+13%	+8%	+14%
国内線 旅客数(人)	262,558	290,845	275,898
2019年比	+4%	+5%	+5%

< 関西国際空港・神戸空港の状況 >

- ・6月の関西国際空港の状況は、5月期に引き続き国際線の発着回数が回復傾向。各国の水際対策緩和の影響により、コロナ前（2019年比）の70%まで回復。
- ・外国人旅客数は、6月も順調に増加し、100万人を超えた。
- ・国際線旅客数は、引き続き外国人旅客数・日本人旅客数共に好調に推移して、2019年比63%まで回復が進んでいる。
- ・神戸空港については、1月以降、コロナ前を上回る回復を見せている。
6月はFDAの神戸～新潟便が運休。
8月10日～20日までの期間運行をもって運休する。

直近1年間の関西国際空港・神戸空港の利用状況は[44ページ](#)、
2023年6月までの神戸空港就航都市路線別旅客数・利用率は[45ページ](#)へ



出典：関西エアポートニュースリリースより作成

※国内線旅客数は発着者数計、国際線旅客数は出入国者数計となります。

関空国際線就航状況・入国状況 ～KTBターゲット12か国～ 8月9日時点

国際線就航状況 (便数)	2020年1月	2023年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
英国	3	0	0	0	0	0	0	0
フランス	6	3	3	5	5	5	4	4
豪州	12	4	4	5	5	5	5	7
米国	78	—	—	11	11	11	11	11
中国	630	8	8	98	125	161	157	197
台湾	169	75	91	101	101	101	94	112
香港・マカオ	117	66	69	69	118	82	96	94
韓国	244	238	239	265	282	246	296	263
タイ	47	18	21	31	36	36	42	42
マレーシア	14	15	15	15	15	18	18	18
インドネシア	9	0	0	0	0	0	0	0
シンガポール	116	—	—	14	14	21	21	21

※1週間に就航している便数

ターゲット12か国合計、前月比107%

中国、前月比125%
新たな空港が4カ所追加、
合計17カ所に。

出典：関西エアポート発表情報より作成

入国状況 (人数)	2020年1月	2023年2月	3月	4月	5月
英国	3,526	1,749	3,931	3,811	3,316
フランス	2,271	1,808	3,644	5,769	5,441
豪州	11,956	3,822	6,385	8,226	6,090
米国	12,756	6,087	17,020	20,690	23,048
中国	328,191	8,540	18,157	35,857	58,039
台湾	102,205	59,164	69,566	73,493	79,576
香港	51,421	37,665	48,240	44,399	46,007
韓国	85,174	176,963	149,823	158,791	172,775
タイ	22,458	12,857	20,748	29,837	23,342
マレーシア	11,684	9,408	11,950	11,866	10,642
インドネシア	8,866	5,760	6,179	11,275	6,611
シンガポール	6,237	7,454	14,578	9,698	14,145

ターゲット12か国合計、前月比108.5%

増加率トップは中国で、前月比162%。
次いでシンガポール145%、米国111%。

前月より減少しているのはインドネシア58%、
豪州74%、タイ78%、英国87%、マレーシア
89%、フランス94%となっている。

※2023.7月速報値
関空入国者数：（601,246人（6月：552,492人 5月：501,210人））

出典：総務省「出入国管理統計」より抜粋

【クルーズ船寄港状況】 ポートターミナル・中突堤

		7月分					累計				
		R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比	R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比
総合計	隻数	13	14	10	93%	130%	50	119	150	42%	33%
	船客数	7,235	3,191	16,110	227%	45%	45,327	26,683	180,727	170%	25%

ポートターミナル		7月分					累計				
		R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比	R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比
合計	隻数	10	13	7	77%	143%	34	111	94	31%	36%
	船客数	5,715	2,880	13,443	198%	43%	36,275	22,875	142,298	159%	25%
日中国際フェリー (新釜真・蘇州航)	隻数	5	4	3	125%	167%	17	52	28	33%	61%
	船客数	0	0	465	-	0%	0	0	2,526	-	0%
日本船 (内航)	隻数	3	9	1	33%	300%	3	53	11	6%	27%
	船客数	2,698	2,880	1,698	94%	159%	2,698	18,387	7,385	15%	37%
日本船 (外航)	隻数	0	0	0	-	-	0	2	3	0%	0%
	船客数	0	0	0	-	-	0	20	1,262	0%	0%
外国籍船	隻数	2	0	3	-	67%	14	4	52	350%	27%
	船客数	3,017	0	11,280	-	27%	33,577	4,468	131,125	751%	26%

中突堤旅客ターミナル		7月分					累計				
		R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比	R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比
合計	隻数	3	1	3	300%	100%	16	8	56	200%	29%
	船客数	1,520	311	2,667	489%	57%	9,052	3,808	38,429	238%	24%
日本船 (内航)	隻数	3	1	3	300%	100%	7	3	42	233%	17%
	船客数	1,520	311	2,667	489%	57%	4,120	773	29,813	533%	14%
日本船 (外航)	隻数	0	0	0	-	-	1	0	5	-	20%
	船客数	0	0	0	-	-	640	0	2,286	-	28%
外国籍船	隻数	0	0	0	-	-	8	5	9	160%	89%
	船客数	0	0	0	-	-	4,292	3,035	6,330	141%	68%

■全体

7月はR4年度比で隻数▲1、船客は+4,044。R1年度比で隻数+3、船客は▲8,875。

7月23日(日)・24日(月)にはポートターミナルにて「客船フェスタ2023」が開催され、2日間でのべ7,000名の方にご来場いただき、多くの方にクルーズ客船や船旅、港について知っていただける良い機会となった。

■ポートターミナル

7月の入港隻数は10。内訳は定期船の日中国際フェリーが5、日本籍船「飛鳥II」が3、外国籍船「DIAMOND PRINCESS」が1、「PACIFIC WORLD」が1。

■中突堤

7月の入港隻数は3。内訳は日本籍船「にっぽん丸」が2、「飛鳥II」が1。

【クルーズ船】9月の入港予定情報

今月より
次月の入港
予定を掲載！

9月は延べ5隻が入港予定！

- ・日本寄港最大級「MSCベリッシマ」が入港！！
- ・神戸への**初入港**は「コーラル・アドベンチャラー」・「招商伊敦」！！

客船名	寄港日時	総トン数	乗客定員 ※クルーは含めず	主な乗客 ※予測	ランク	入港場所
MSCベリッシマ	9/13(水)16:00～ 9/14(木)20:00	171,598トン	4,418名	日本人 他	カジュアル	ポートターミナル
ナショナル・ジオグラフィック・ レゾリューション	9/18(月)0:00～23:59	12,786トン	126名	欧米系	ラグジュアリー	ポートターミナル
飛鳥II	9/25(月)9:00～17:00	50,444トン	872名	日本人	ラグジュアリー	中突堤旅客 ターミナル
コーラル・アドベンチャラー ★初入港	9/26(火)7:00～23:59	5,516トン	120名	欧米系	ラグジュアリー	中突堤旅客 ターミナル
招商伊敦(チャイナ・マーチャント・アデン) ★初入港	9/29(金)11:00～ 9/30(土)15:00	47,842トン	930名	中国人 他	ラグジュアリー	ポートターミナル

※寄港時間の詳細（入港時間・出港時間）は、天候等により変更になる場合があります。最新情報は神戸市港湾局ホームページにてご確認ください。

☞神戸市：客船入港予定 (kobe.lg.jp)

※本資料では参考として客船の「定員数」を掲載しています。実際の「乗船客数」とは異なりますのでご注意ください。

※客船のランクについてはクルーズの価格帯で分類され、一般的にラグジュアリー>プレミアム>カジュアルの順となります。



▲MSCベリッシマ



▲コーラル・アドベンチャラー



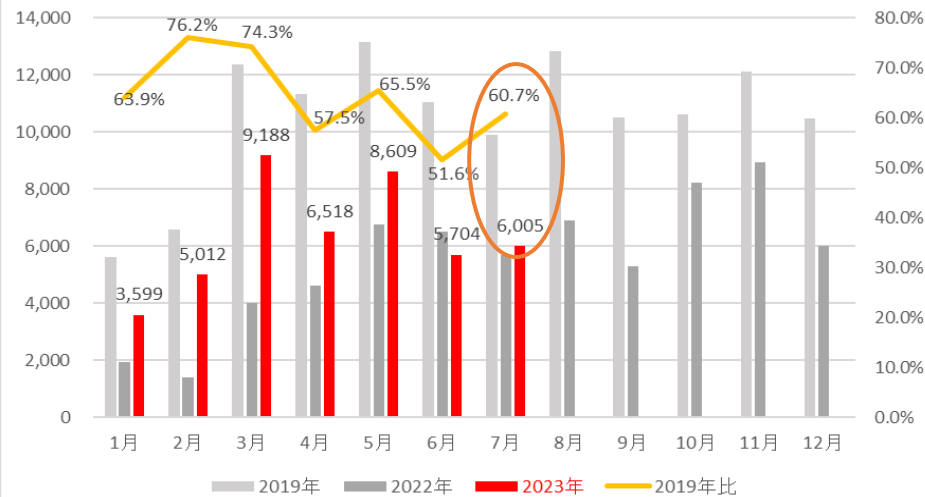
▲招商伊敦(チャイナ・マーチャント・アデン)



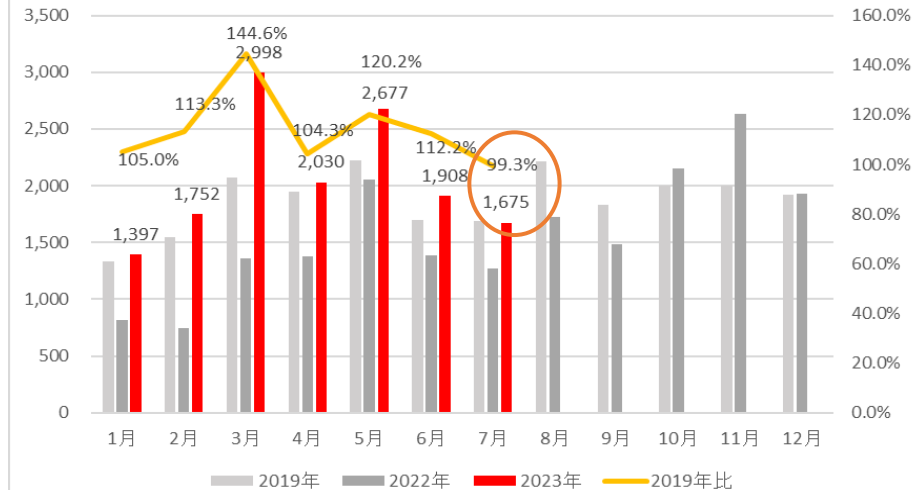
神戸市内観光に関する情報
～神戸観光局オリジナルデータ～

市内観光案内所 観光客案内件数 (2023.7)

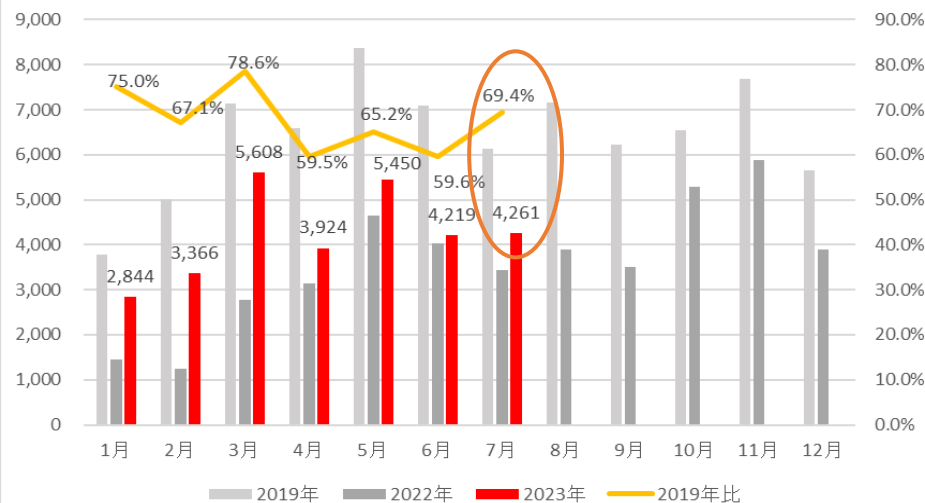
総合IC



北野



新神戸



○総合インフォメーションセンター (JR三宮駅東口南)

中国人観光客増加に伴い、中国語対応カウンターに列ができる。

○北野観光案内所 (北野異人館街)

猛暑の中、休憩所の役割も担う。

○新神戸駅観光案内所 (JR新神戸駅構内、改札前)

イベント開催の有無が来館数に影響する。

7月案内所全体件数 11,941件 ⇒ 前月比 115% 2019年比 67.4%

○ 総合インフォメーションセンター

9-18時の時短営業

- 〔客数状況〕 ・7月中下旬～8月中旬は平日390名ほど・休日390名ほど。
- 〔客層〕
 - ・日本人・アジア系のファミリー、グループ。
 - ・クルーズ船乗船客。
- 〔行き先〕
 - ・スマパスを利用しての市内観光、家族連れはどうぶつ王国へ。
 - ・みなとまつり、ボート天国などのイベント。
- 〔内容〕
 - ・中国語の窓口に行列ができる。
 - ・アジア系外国人は家族3世代での旅行グループもみられる。

○ 北野観光案内所

通所営業時間
9-18時 (3月～10月)
9-17時 (11月～2月)

- 〔客数状況〕 ・7月中下旬～8月中旬は平日120名ほど・土日120名ほど。
- 〔客層〕
 - ・国内外の家族連れ。中国、台湾、韓国、香港、ベトナム、スペインなど。
 - ・中国上海から80名の修学旅行団体が訪れる。
- 〔行き先〕
 - ・各異人館、布引の滝、南京町、ハーブ園、有馬、六甲山、摩耶山等。
- 〔内容〕
 - ・猛暑の中、赤ちゃん連れの方などに休憩をすすめるなどの対応を心掛けた。
 - ・クルーズ船入港に伴い海外観光客が多数来館。

○ 新神戸駅観光案内所

9-17時の通常営業

- 〔客数状況〕 ・7月中下旬～8月中旬は平日190名ほど、土日180名ほど。
- 〔客層〕
 - ・アジア系の他、アメリカ・フランスなど欧米圏観光客。
 - ・トレイルステーション開設に伴う来客が少しずつ動き出している。
- 〔行き先〕
 - ・アウトレット、ハーブ園、ハーバーランド。ノープラン外国人も多い。
 - ・天候に関わらず、六甲山・摩耶山への問合せ多い。
- 〔内容〕
 - ・猛暑のためバス1日券、2日券が良く売れる。
 - ・神戸大オープンキャンパス、甲子園へ向かう他府県からのお客様が目立つ。
 - ・観光計画の相談は数時間から数日と幅広い。

土日と平日の客数は夏休み期間という事もあり、ほぼ同数。

市内観光案内所 国籍別窓口対応状況 (2023.7)

国・地域	総合IC	北野	新神戸	
アジア	韓国	258	177	30
	中国	478	195	78
	台湾	823	377	108
	香港	265	71	37
	タイ	62	5	47
	シンガポール	77	4	33
	マレーシア	22	6	18
	インドネシア	23		35
	フィリピン	53	6	36
	ベトナム	9		7
	インド	20	5	32
	パキスタン			
	バングラデシュ			
その他アジア	1029	8	124	
中東	イスラエル	5		2
	トルコ			3
	イラン			
	その他中東	11	6	9
ヨーロッパ	英国	22	3	24
	フランス	35	7	93
	イタリア	4	3	16
	ロシア			
	ギリシャ			
	アイルランド			
その他ヨーロッパ	336	31	119	
アフリカ	南アフリカ共和国			1
	エジプト			
	その他アフリカ	1		2
北アメリカ	米国	81	24	120
	カナダ	4	1	27
	メキシコ	2		7
	その他北米	7		
南アメリカ	ブラジル	1		25
	アルゼンチン			
	コロンビア			1
	その他中南米	19	1	
オセアニア	オーストラリア	20	5	50
	ニュージーランド	3		1
	その他オセアニア	1		
地域不明			353	
	(人)	3671	935	1438

〔総合ICより概況〕

- ・外国籍利用者3,671人、前月比122%。
コロナ禍以前2019年同月比68%
- ・アジア系を中心にファミリー層が目立つ。特にどうぶつ王国+往復乗車券のセット券の人気の高い。その他「まやレジャー切符」や市街地観光のKOBEDAYループバスチケット」等の企画チケットを求めるケースが多い。
- ・中国人観光客は中国語での対応を求める傾向で、対応スタッフが不在の場合に困るケースが多かった。

〔北野観光案内所より概況〕

- ・外国籍利用者935人、前月比170%。
アジア系の方が外国人来所者の90%を占める。
アジア系のうち台湾が約44%、中国約23%、韓国約20%で、これまで1番多かった韓国を台湾・中国が逆転している。
- ・ほとんどが母国語の北野ガイドマップを要望。

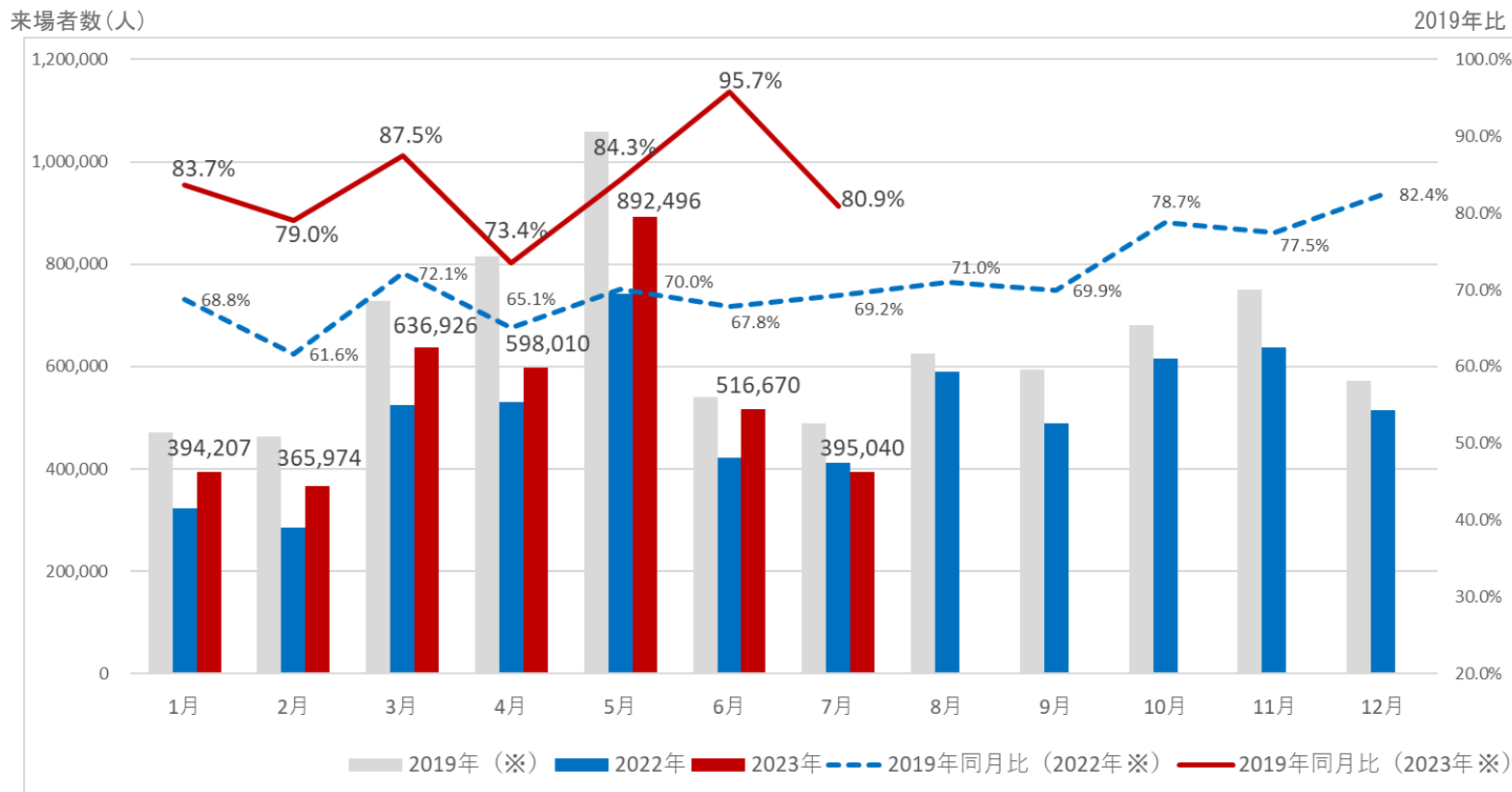
〔新神戸観光案内所より概況〕

- ・外国籍利用者1,607人、前月比89.4%。
- ・交通系ICカードの購入者増加傾向。ロッカー自販機、コンビニ、各所店舗で活用されている。
- ・日本の入墨禁止事情を理解しているタトゥーのある海外のお客様が日帰りの貸切風呂の利用を希望されたが、有馬では可能な施設がない現状。
- ・ハーブ園、滝へのアクセス問合せ多い。
アジア系の観光客は買い物目的のアウトレットが根強く人気。

7月案内所全体件数 6,044件 ⇒ 前月比116.8%
2019年比83.1%

主要市内観光施設来場者数（2023.7）

- ・ 7月の来場者数について、酷暑の影響もあり来場者数は前月を下回り、2019年7月比：約8割で推移。
- ・ 特にスマスイの閉館、神戸市立博物館での人気企画展などが6月で終了した影響もあり、来場者数が減。
- ・ 引き続きインバウンドは増加傾向にあり、特に韓国、台湾、東南アジアからの来場者数が目立っている。



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1~12月計
2019年(※)	471,003	463,021	727,912	814,300	1,058,835	539,885	488,325	625,884	593,288	680,598	750,820	571,651	7,785,522
2022年	323,867	285,141	525,080	530,110	741,675	421,305	411,176	590,543	489,843	616,308	637,940	514,591	6,087,579
2019年同月比(2022年)※	68.8%	61.6%	72.1%	65.1%	70.0%	67.8%	69.2%	71.0%	69.9%	78.7%	77.5%	82.4%	71.5%
2023年	394,207	365,974	636,926	598,010	892,496	516,670	395,040						
2019年同月比(2023年)※	83.7%	79.0%	87.5%	73.4%	84.3%	95.7%	80.9%						

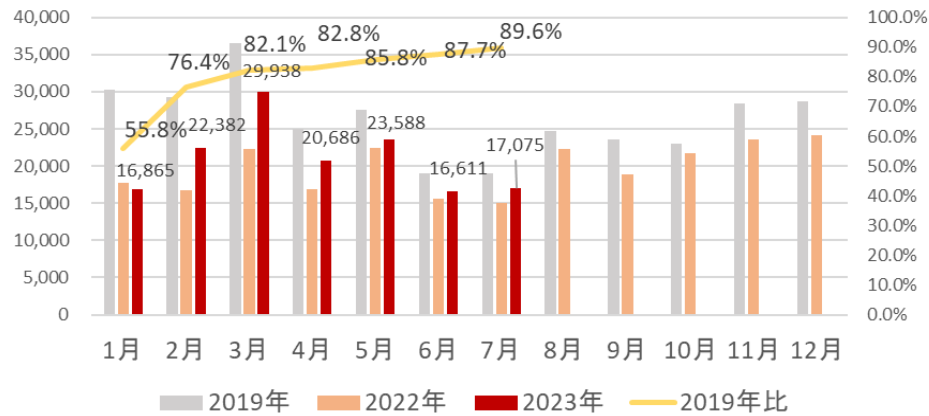
※比較時点で改修中の施設除く（2022年・2023年通年：ポートタワー、2023年6月～：須磨海浜水族園）

出典：神戸市観光企画課・神戸観光局調査

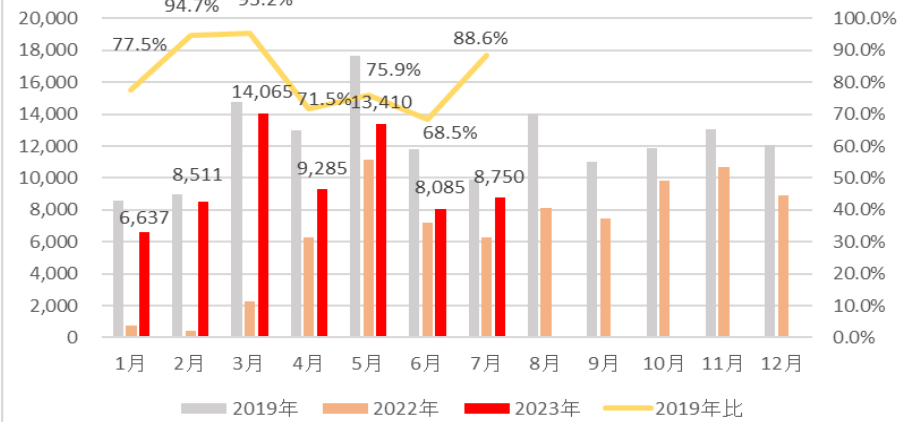
集計対象施設：全21施設(ラインの館、風見鶏の館、王子動物園、神戸市立博物館、六甲山牧場、金の湯、銀の湯、須磨海浜水族園など)

所管施設入館者数（金の湯・銀の湯） / （萌黄の館）

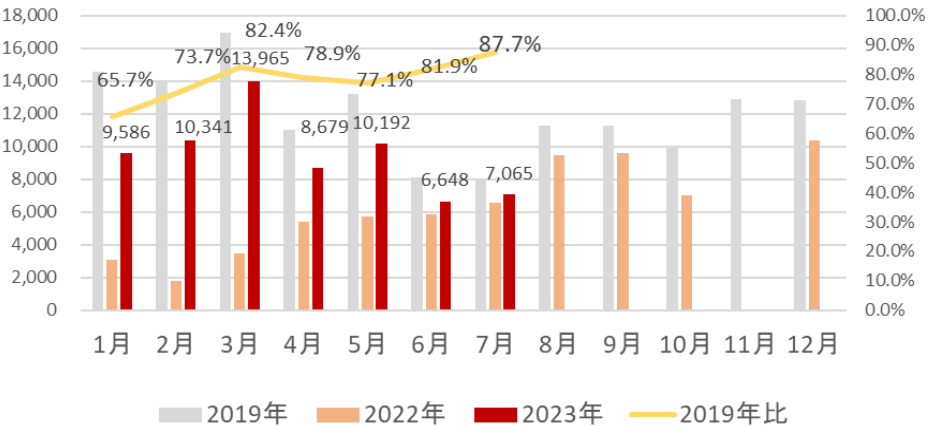
金の湯



萌黄の館



銀の湯



【コメント】

2019年比、全体では88.6%。
4月より外国人比率が上昇している。
アジア系外国人が中心。



【コメント】

2019年度の実績には及ばないが、外国人の利用者が増えつつあることで、昨年的人数を上回ることができた。

海外利用者のうち、団体利用は韓国、個人利用は中国からの利用者が目立つ。



神戸市内大型施設の主な催事情報(9～10月) 8月20日時点

※1,000名以上収容可能施設から主なイベント情報を抽出
 ※コンサート等については、アーティスト名のみを表記
 ※神戸観光局経営推進部調べ



9月	神戸国際会議場	神戸国際展示場	ワールド記念ホール	こくさいホール	神戸文化ホール	総合運動公園
1週目	9月1～2日 第25回日本褥瘡学会学術集会		1～3日 ディズニーオンアイス	2日 清水翔太	2日 新世界の扉をたたけ!	2～3日 U-18日清ブロックバスケットボール
2週目	7～8日 第20回Spring-8産業利用 報告会	7～8日 国際フロンティア産業 メッセ2023	8～10日 2023 TREASURE FAN MEETING ～HELLO AGAIN～	9日 島津亜弥		
3週目	15～17日 日本心理学会87回大会			10日 沢田研二 13日 美川憲一 & コロッケ 15～16日 徳永英明	16日 EXIT LIVE (中ホール) 16日 神戸市混声合唱団 (大ホール)	16～18日 日本女子リーグ2023/2024アルコ神戸
4週目	19～23日 International HBV Meeting2023		17日 Inori Minase LIVE TOUR 2023 SCRAP ART	17日 高島ちさ子 19～21日 劇団四季 23日 木久扇・志ら く・たい平 三人会	17日 第47回東西落語名人選	23日 令和5年度神戸市総合スポーツ大会
5週目	28日 日独水素シンポジウム 2023 30～10/1 第6回日本腫 瘍循環器学会学術集会		24日 新日本プロレス DESTRUCTION in KOBE	28日 Saucy Dog		30日 第32回バトントワーリング兵庫県大会

10月	神戸国際会議場	神戸国際展示場	ワールド記念ホール	こくさいホール	神戸文化ホール	総合運動公園
1週目	9月30日～10月1日 第25回日本褥瘡学会学術集会		1日 エシックスファンミー ティング2023in オータム	6日 ゴスペラーズ 7日 SHISHAMO	7日 神戸フィルハーモニック	6日/第3回神戸市長距離記録会 7日/令和5年神戸市総合スポーツ大会体 操競技
2週目	6～7日 第141回中部日本整形外科 災害科学学会・学術集会	5～7日 Techno-Ocean2023		8日 浜崎あゆみ 12～13日 玉置浩二	8日 神戸アンサンブルソロ イス	11～13日/国体近畿ブロック大会(バス ケ) 14日/第56回兵庫県空手道選手権大会
3週目	14日 第60回日本糖尿病学会近 畿地方会・第59回日本糖 尿病協会近畿地方会		14～15日 50thAnniversary 松任谷 由美コンサートツアー 「The Joumey」	15日 平原綾香 18日 堀内孝雄、渡辺 真知子、相田翔子、他 19日 舟木一夫 20日 十三代目市川園 十郎	13日 山内恵介コンサート ツアー2023 14日 第46回藤田佳代舞踏 研究所 15日 神戸男声合唱団	21日/第81回兵庫県社会人クラブバトミ ントン団体リーグ戦
4週目	21日 日本超音波医学会第50回 関西地方学術集会	19日/食品展示会 19～21日/CCT2023 22日/マイナビ仕事研 究&インターンシップ		27日 ディズニーオン クラシック 28日 おかあさんと いっしょ	26～27日 令和5年度全国 学校保健・安全研究大会	28日/幼児音体フェスティバル2023関 西大会神戸大会
5週目	28～29日 令和5年度 第68回全国里 親大会 兵庫大会	25～26日/第176回 2024春 日本グランド シューズコレクション &全国サンダルフェア	31日 NET_FEST-Extra-			全国高等学校バスケットボール選手権 大会(ウインターカップ2023)

※各催事の集客予定人数・販売状況については、当方および各施設・主催者にお問い合わせいただいても一切お答えできません。

參考資料集

2023年7月訪日外客数の各国・地域別の内訳(対2019年比)

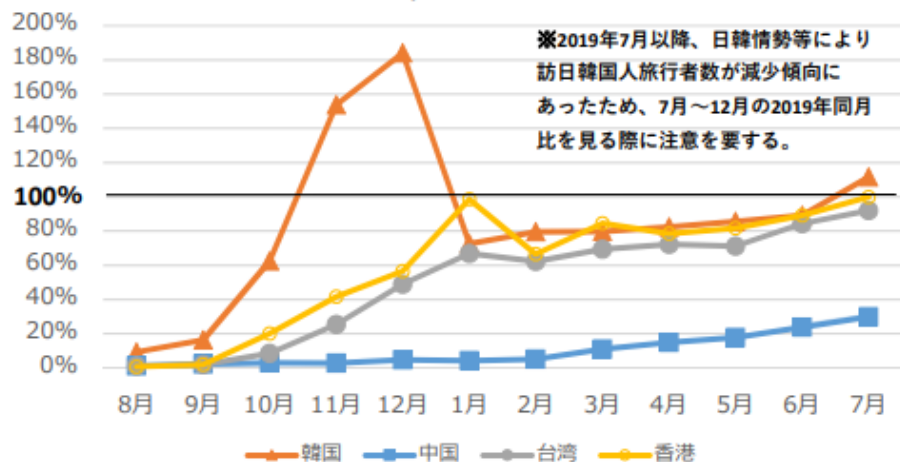
国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2019年 7月	2023年 7月	伸率(%)	2019年 1月～7月	2023年 1月～7月	伸率(%)
総数	Grand Total	2,991,189	2,320,600	-22.4	19,624,803	13,032,900	-33.6
韓国	South Korea	561,675	626,800	11.6	4,424,333	3,755,300	-15.1
中国	China	1,050,420	313,300	-70.2	5,582,885	908,000	-83.7
台湾	Taiwan	459,216	422,300	-8.0	2,940,065	2,192,900	-25.4
香港	Hong Kong	216,810	216,400	-0.2	1,314,699	1,126,100	-14.3
タイ	Thailand	73,202	49,600	-32.2	756,797	547,300	-27.7
シンガポール	Singapore	21,716	25,300	16.5	235,799	278,000	17.9
マレーシア	Malaysia	22,957	17,400	-24.2	260,886	211,600	-18.9
インドネシア	Indonesia	25,215	28,500	13.0	241,088	230,200	-4.5
フィリピン	Philippines	37,771	51,700	36.9	332,891	328,800	-1.2
ベトナム	Vietnam	40,762	44,800	9.9	294,009	345,700	17.6
インド	India	13,222	13,100	-0.9	106,162	92,500	-12.9
豪州	Australia	34,873	35,600	2.1	361,779	310,400	-14.2
米国	U.S.A.	156,865	198,800	26.7	1,031,989	1,171,000	13.5
カナダ	Canada	29,285	38,800	32.5	213,054	222,100	4.2
メキシコ	Mexico	8,661	10,000	15.5	40,285	45,000	11.7
英国	United Kingdom	28,928	27,000	-6.7	214,626	177,100	-17.5
フランス	France	34,634	31,100	-10.2	194,944	153,200	-21.4
ドイツ	Germany	18,593	19,100	2.7	137,072	125,900	-8.2
イタリア	Italy	13,566	14,000	3.2	88,334	73,300	-17.0
スペイン	Spain	15,771	13,000	-17.6	67,193	52,500	-21.9
ロシア	Russia	9,005	3,200	-64.5	64,945	19,400	-70.1
北欧地域	Nordic Countries	14,764	12,500	-15.3	87,109	65,600	-24.7
中東地域	Middle East	6,813	9,900	45.3	52,883	61,800	16.9
その他	Others	96,465	98,400	2.0	580,976	539,200	-7.2

※2023年5月の公表から、北欧地域(スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド)の推計値の公表を開始。

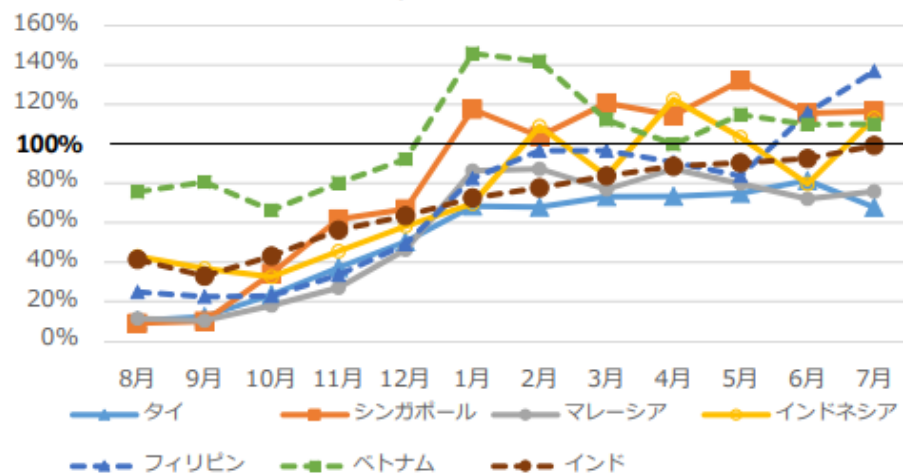
※中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国(サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート)

2022年8月～2023年7月訪日外客推移（2019年同月比）

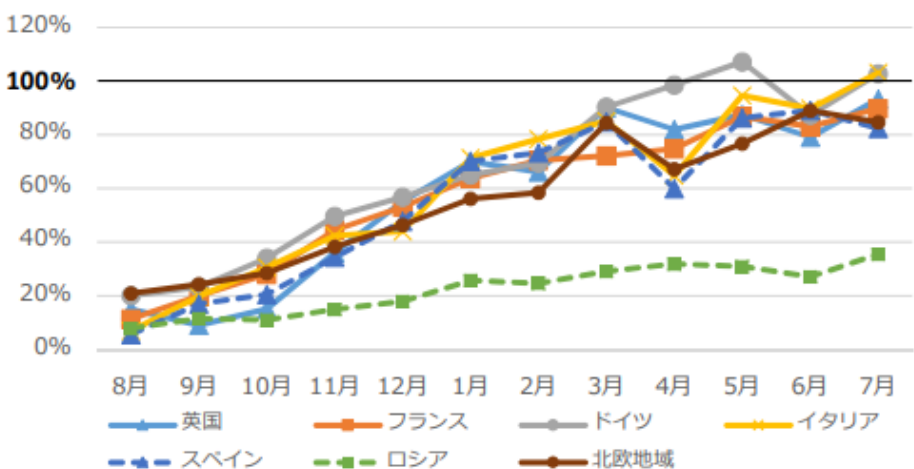
東アジア



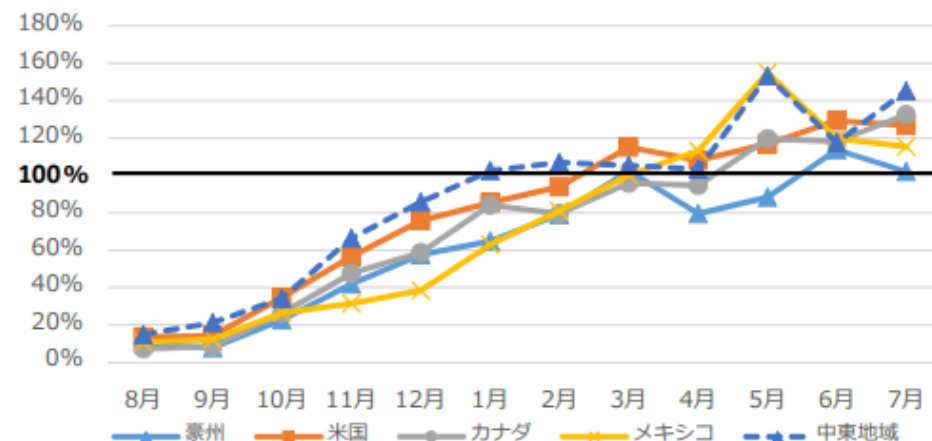
東南アジア



欧州・北欧



北米・豪州・中東



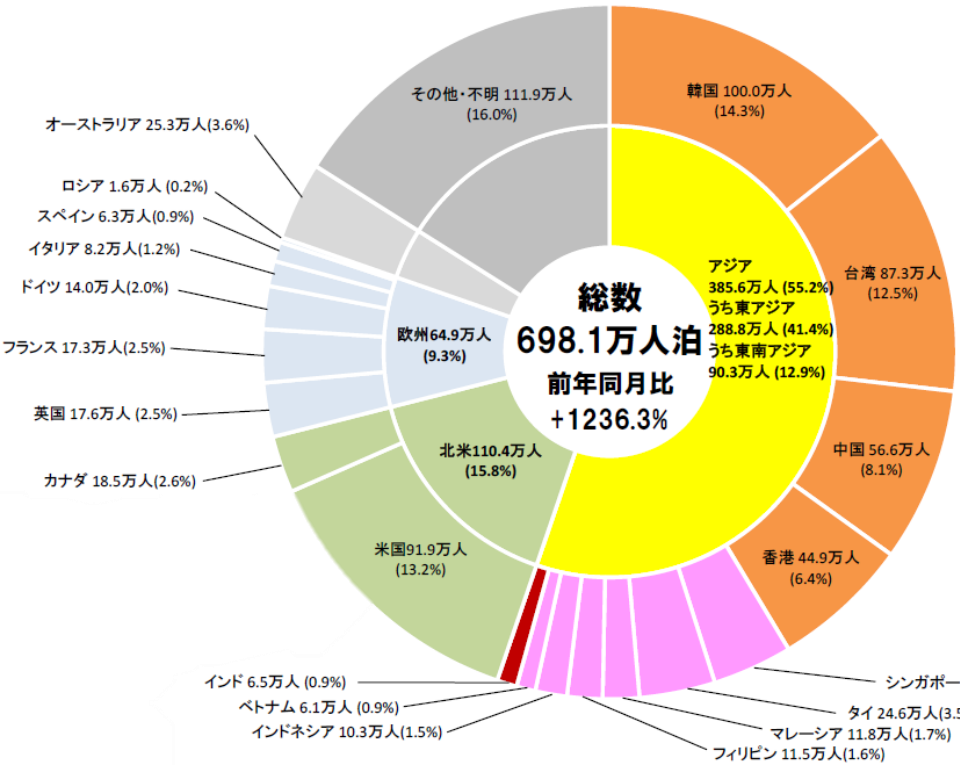
(注) 2020年から拡大した新型コロナウイルスによる影響を除くため、1月以降も繰り返し2019年の数値と比較している。

国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数（R5.5月）

○令和5年5月の国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数は、第1位が韓国、第2位が米国、第3位が台湾、第4位が中国、第5位が香港で、上位5ヵ国・地域で全体の54.5%を占める。

○2019年同月比では東アジアの回復が遅いものの、東南アジアや欧米豪の一部など、上位20か国のうち半数が2019年を上回った。

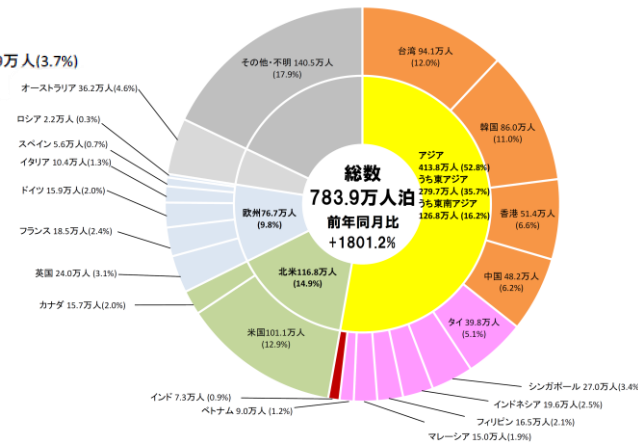
国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数（令和5年5月（第2次速報））



順位	国籍（出身地）	合計		2019年同月比	前年同月比
		（人泊）	シェア		
第1位	韓国	999,600	14.3%	-1.3%	+3655.1%
第2位	米国	919,070	13.2%	+34.6%	+667.2%
第3位	台湾	873,220	12.5%	-21.2%	+11764.4%
第4位	中国	566,490	8.1%	-75.9%	+734.7%
第5位	香港	449,130	6.4%	-21.3%	+8487.6%
第6位	シンガポール	259,480	3.7%	+38.4%	+2138.8%
第7位	オーストラリア	253,170	3.6%	+1.1%	+3765.2%
第8位	タイ	246,250	3.5%	-14.7%	+2218.7%
第9位	カナダ	184,590	2.6%	+51.2%	+2610.6%
第10位	英国	175,520	2.5%	+2.5%	+1520.7%
第11位	フランス	172,690	2.5%	-4.5%	+1818.8%
第12位	ドイツ	139,590	2.0%	+28.5%	+1260.5%
第13位	マレーシア	118,260	1.7%	+2.1%	+1939.0%
第14位	フィリピン	114,630	1.6%	-0.8%	+543.6%
第15位	インドネシア	102,780	1.5%	+20.5%	+508.9%
第16位	イタリア	81,640	1.2%	-2.0%	+1798.6%
第17位	インド	65,030	0.9%	-0.0%	+523.5%
第18位	スペイン	63,470	0.9%	-13.1%	+3154.9%
第19位	ベトナム	61,430	0.9%	+5.5%	+64.0%
第20位	ロシア	15,920	0.2%	-67.0%	+1215.7%
	その他	844,480	12.1%	+11.9%	+804.3%
	合計	6,980,950	100.0%	-18.6%	+1236.3%

【参考】前月分

国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数（令和5年4月（第2次速報））



※ 合計は国籍（出身地）不詳を含む。
 ※ 従業者数10人以上の施設に対する調査から作成。
 ※ 2019年同月比及び前年同月比は、確定値との比較である。

都道府県別外国人延べ宿泊者数 (2023.3～2023.5)



(単位：人泊)

	3月		4月		5月	
全国	7,547,120	順位	9,519,560	順位	8,765,940	順位
01北海道	445,620	(4)	307,080	(7)	364,230	(4)
02青森県	9,800	(38)	34,300	(24)	12,030	(37)
03岩手県	9,650	(39)	26,920	(27)	11,470	(38)
04宮城県	21,680	(26)	54,410	(19)	38,650	(20)
05秋田県	2,530	(47)	8,170	(43)	4,420	(45)
06山形県	12,790	(33)	10,680	(41)	6,480	(43)
07福島県	14,350	(30)	19,850	(33)	14,020	(33)
08茨城県	14,310	(31)	18,720	(35)	14,720	(31)
09栃木県	34,570	(21)	46,000	(22)	34,570	(23)
10群馬県	17,340	(28)	24,270	(30)	14,150	(32)
11埼玉県	11,030	(36)	16,680	(37)	14,840	(30)
12千葉県	185,050	(8)	324,750	(5)	236,790	(7)
13東京都	3,032,610	(1)	3,595,080	(1)	3,317,990	(1)
14神奈川県	204,500	(7)	247,050	(8)	202,570	(8)
15新潟県	24,280	(23)	21,200	(32)	16,390	(29)
16富山県	5,420	(43)	30,280	(25)	33,790	(24)
17石川県	58,020	(17)	130,690	(13)	102,380	(13)
18福井県	3,830	(45)	6,930	(45)	6,450	(44)
19山梨県	86,450	(13)	139,520	(12)	100,050	(14)
20長野県	89,670	(12)	141,030	(11)	107,870	(11)
21岐阜県	54,950	(18)	112,920	(14)	106,880	(12)
22静岡県	73,540	(14)	98,960	(17)	74,110	(17)
23愛知県	132,440	(9)	163,220	(9)	146,170	(9)

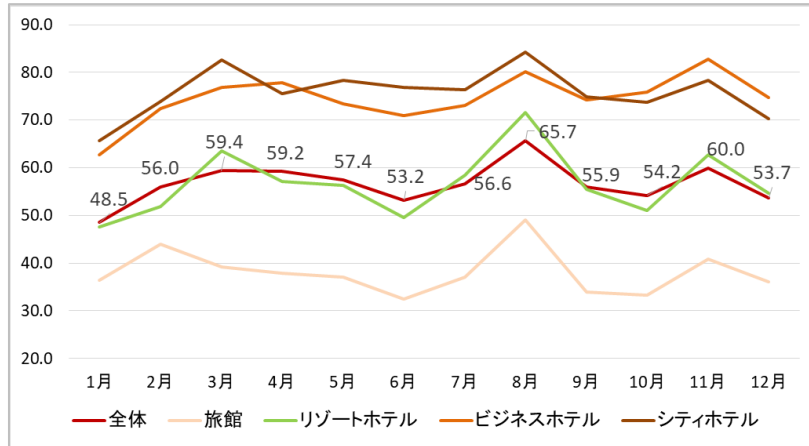
	3月		4月		5月	
24三重県	12,700	(34)	22,290	(31)	12,820	(34)
25滋賀県	16,980	(29)	17,650	(36)	13,820	(33)
26京都府	820,640	(3)	1,209,180	(3)	990,340	(3)
27大阪府	1,074,960	(2)	1,305,630	(2)	1,470,150	(2)
28兵庫県	72,010	(15)	102,300	(16)	91,950	(15)
29奈良県	22,200	(24)	25,550	(29)	28,660	(24)
30和歌山県	36,160	(20)	46,470	(20)	38,580	(20)
31鳥取県	3,970	(44)	5,110	(46)	3,520	(46)
32島根県	3,040	(46)	4,110	(47)	3,840	(45)
33岡山県	22,180	(25)	29,580	(26)	23,180	(25)
34広島県	89,700	(11)	152,090	(10)	110,880	(9)
35山口県	9,240	(40)	7,330	(44)	6,490	(41)
36徳島県	12,320	(35)	15,040	(38)	10,720	(38)
37香川県	19,970	(27)	39,440	(23)	38,890	(18)
38愛媛県	13,390	(32)	19,330	(34)	16,670	(27)
39高知県	9,090	(41)	11,470	(40)	10,030	(39)
40福岡県	298,290	(5)	308,270	(6)	336,350	(4)
41佐賀県	9,930	(37)	12,930	(39)	12,190	(35)
42長崎県	36,880	(19)	46,290	(21)	34,890	(21)
43熊本県	61,430	(16)	80,310	(18)	72,940	(17)
44大分県	99,890	(10)	105,700	(15)	92,320	(14)
45宮崎県	8,770	(42)	9,890	(42)	7,960	(40)
46鹿児島県	27,080	(22)	26,890	(28)	22,810	(26)
47沖縄県	221,860	(6)	337,970	(4)	334,900	(5)

宿泊タイプ別客室稼働率

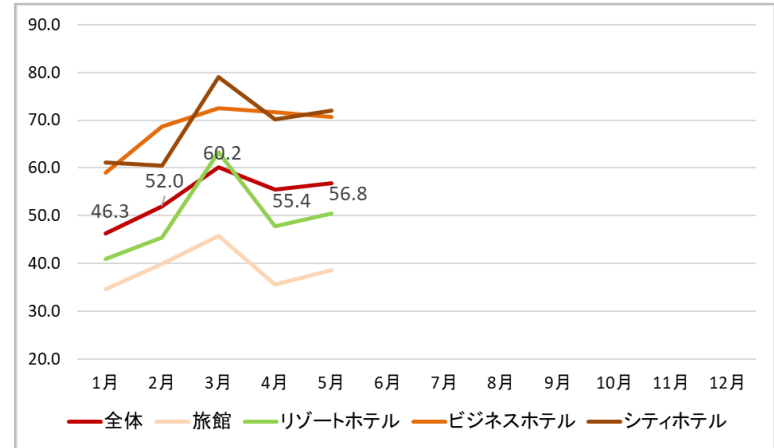
2019年／2023年比較

【兵庫県】

(2019年)

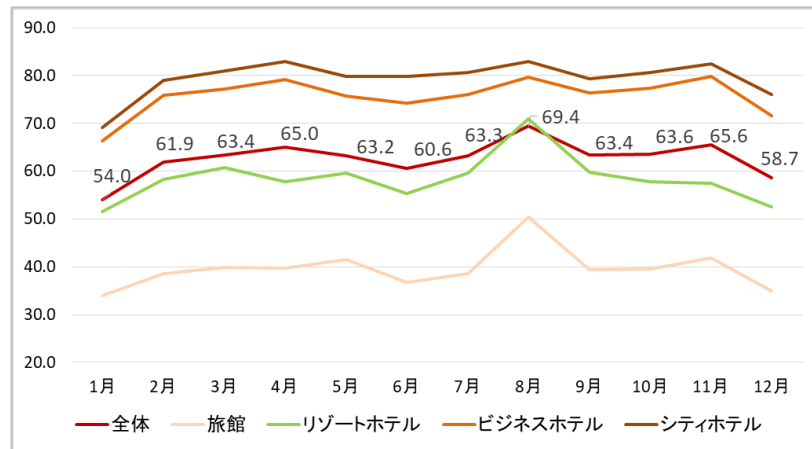


(2023年)

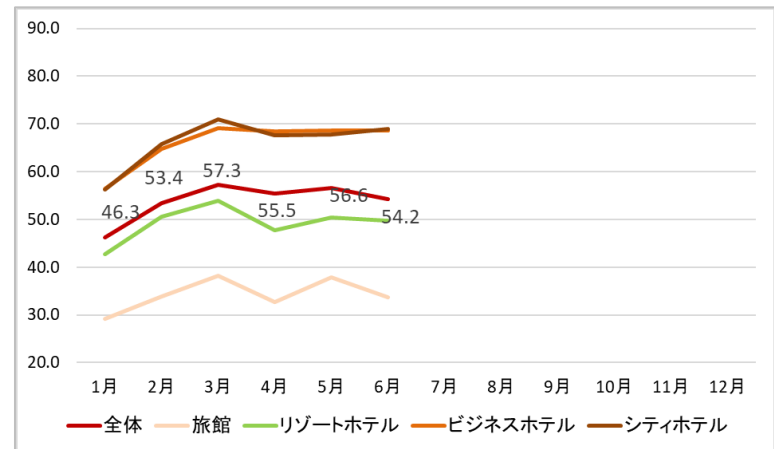


【全国】

(2019年)



(2023年)



世界の運航状況

2019年8月1週目比 2023年8月1週目比

地域	2019年8月1週目比	2023年8月1週目比
世界	-2.0%	-0.4%
西欧	-1.8%	0.0%
東欧	-16.0%	0.0%
北米	0.2%	-1.4%
中米	9.8%	-3.0%
南米	3.8%	-1.0%
東アジア	-0.9%	0.3%
東南アジア	-16.5%	-1.8%
中東	-0.4%	1.0%
太平洋(豪州ほか)	-6.5%	0.2%

世界の座席利用率(2023年6月)

※ポイントは2019年同月差

地域	合計	国際線	国	国内線
アジア・太平洋	80.4% -1.8p	82.9% 1.5p	日本	73.4% 2.1p
欧州	87.7% 0.3p	87.8% 0.0p	中国	77.2% -7.6p
北米	88.7% 0.2p	90.2% 2.2p	インド	89.9% 0.4p
中南米	82.5% -0.8p	83.8% -0.2p	米国	87.8% -1.8p
中東	79.4% 3.0p	79.8% 3.4p	豪州	73.6% -2.5p
合計	84.2% -0.2p	85.0% 1.4p	合計	82.9% -2.8p

出典: OAG FLIGHT DATAより抜粋・算出

<https://www.oag.com/coronavirus-airline-schedules-data?hsLang=en-gb>

出典: IATA「Air Passenger Market Analysis」より抜粋

<世界の航空業界の状況>

世界の運航総数は、2019年同時期比較で-2.0%。東南アジアの動向が今後注目される。

- ・ 全体的な旅客輸送量の上半期は大幅に回復、コロナ禍前水準の94.2%に達している。

関西国際空港・神戸空港の利用状況(2022年7月～2023年6月) 8月20日時点



関西国際	2022年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
総旅客数(人)	649,909	714,267	648,397	885,510	1,136,004	1,352,147	1,390,798	1,456,834	1,756,841	1,651,773	1,808,219	1,892,675
2019年比(%)	-76	-75	-73	-65	-55	-47	-47	-42	-39	-40	-34	-30
国際線 発着数(回)	3,591	3,740	3,683	4,284	5,544	6,242	6,227	6,197	7,496	8,227	8,660	8,786
2019年比(%)	-74	-73	-71	-66	-57	-55	-55	-48	-44	-38	-36	-34
外国人 旅客数(人)	51,778	67,522	70,856	206,106	471,298	663,438	753,219	736,776	808,116	960,417	989,324	1,095,837
2019年比(%)	-96	-95	-93	-84	-64	-50	-47	-46	-43	-39	-33	-28
国内線 旅客数(人)	546,888	568,852	502,916	583,702	560,512	560,251	502,333	552,232	698,171	524,658	574,587	539,419
2019年比(%)	-11	-13	-14	+2	-2	+1	-9	+5	+9	-8	-4	-2
神戸	2022年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
国内線発着 回数(回)	3,081	3,109	2,785	3,106	2,858	3,058	2,812	2,755	3,014	2,788	2,845	2,744
2019年比(%)	+19	+14	±0	+1	±0	±0	+16	+25	+21	+13	+8	+14
国内線 旅客数(人)	265,021	299,259	256,541	293,612	286,507	279,040	253,485	263,184	316,365	262,558	290,845	275,898
2019年比(%)	-6	-9	-14	+1	-4	±0	+2	+7	+10	+4	+5	+5

※国内線旅客数は発着者数計、国際線旅客数は出入国者数計となります。

出典: 関西エアポートニュースリリースより作成

神戸空港就航都市路線別旅客数・利用率(2022年7月～2023年6月)

8月20日時点



路線	内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年1月	2月	3月	4月	5月	6月
新千歳	旅客数(人)	49,670	51,263	49,579	50,832	40,730	41,390	40,249	44,358	50,793	37,584	48,405	51,985
	利用率(%)	81.3	83.9	86.0	82.8	66.8	67.1	66.7	81.7	80.5	62.1	77.1	85.0
青森	旅客数(人)	3,052	6,319	3,300	3,636	2,764	2,475	2,054	2,358	3,965	2,654	3,674	3,550
	利用率(%)	58.8	63.8	67.7	69.8	54.8	49.1	40.8	50.2	76.1	52.7	70.5	70.4
花巻	旅客数(人)	2,431	3,508	2,663	2,558	2,732	2,597	2,405	2,166	3,863	2,560	3,023	3,022
	利用率(%)	46.8	67.4	54.7	49.3	56.9	52.4	49.2	50.0	78.1	52.5	59.2	60.0
仙台	旅客数(人)	13,862	17,200	15,202	17,488	17,487	16,337	13,382	14,349	18,112	14,971	17,174	15,719
	利用率(%)	63.2	78.4	73.4	79.7	82.3	74.4	62.0	73.7	83.9	70.5	78.2	74.0
新潟	旅客数(人)	1,841	2,274	1,731	2,127	1,811	1,534	1,163	1,583	2,632	209	1,005	-
	利用率(%)	38.4	46.9	38.0	45.5	35.9	33.3	26.1	33.7	62.7	62.2	85.5	-
茨城	旅客数(人)	18,199	22,620	17,808	23,264	24,291	22,316	18,885	20,508	26,489	21,642	23,741	22,066
	利用率(%)	55.3	69.8	57.2	70.7	78.0	67.8	58.0	69.0	80.5	67.9	72.1	69.3
羽田	旅客数(人)	69,993	72,557	70,048	75,781	76,456	78,852	72,983	69,384	79,594	70,589	73,973	69,628
	利用率(%)	69.7	81.8	80.5	82.5	88.5	87.9	82.0	87.4	88.6	81.1	82.5	79.7
松本	旅客数(人)	5,821	5,948	5,512	7,086	7,233	5,873	5,086	5,610	7,479	5,912	7,350	6,729
	利用率(%)	56.4	57.1	56.7	68.2	73.6	62.4	50.5	61.8	73.0	58.7	70.7	66.8
高知	旅客数(人)	2,285	2,535	1,831	2,178	2,380	2,912	2,607	2,409	3,190	2,178	2,731	2,154
	利用率(%)	43.9	48.7	38.9	41.9	49.6	58.1	52.5	53.8	64.5	43.9	52.5	42.7
長崎	旅客数(人)	18,637	23,446	18,703	23,214	22,017	20,425	19,793	20,435	25,737	22,612	24,397	21,535
	利用率(%)	56.9	71.6	63.7	70.5	69.9	62.0	60.8	68.7	78.2	71.0	74.1	67.0
鹿児島	旅客数(人)	10,469	15,389	12,226	16,263	16,935	15,784	14,181	14,804	15,665	13,997	16,745	14,390
	利用率(%)	48.1	70.1	62.2	74.1	79.7	71.9	65.7	74.7	71.4	65.9	76.3	67.7
那覇	旅客数(人)	55,216	61,316	47,024	54,558	57,607	53,879	48,445	53,212	63,904	54,825	54,986	52,787
	利用率(%)	64.2	70.4	65.4	71.5	78.2	70.6	63.8	77.2	82.3	72.7	69.9	75.1
下地島	旅客数(人)	8,444	8,679	5,931	8,689	8,822	8,955	6,586	7,905	9,299	7,936	7,482	8,039
	利用率(%)	76.9	79.1	65.7	79.2	83.1	81.6	60.0	79.8	84.7	74.7	70.5	78.3